

Odds Park Club

vol.47

2017.10~12

笠松競馬特集

ジョッキーインタビュー

吉井友彦 騎手



Graded Dirt Races

- | | | | |
|-------|--------------------------|-------|-----------------------|
| 10/ 3 | 白山大賞典 JpnⅢ(金沢) | 11/ 3 | JBCレディスクラシック JpnI(大井) |
| 10/ 4 | 東京盃 JpnII(大井) | 11/21 | 兵庫ジュニアグランプリ JpnII(園田) |
| 10/ 5 | レディスプレリュード JpnII(大井) | 11/23 | 浦和記念 JpnII(浦和) |
| 10/ 9 | マイルチャンピオンシップ南部杯 JpnI(盛岡) | 12/ 6 | クイーン賞 JpnⅢ(船橋) |
| 10/12 | エーデルワイス賞 JpnⅢ(門別) | 12/13 | 全日本2歳優駿 JpnI(川崎) |
| 10/31 | 北海道2歳優駿 JpnⅢ(門別) | 12/14 | 名古屋グランプリ JpnII(名古屋) |
| 11/ 3 | JBCクラシック JpnI(大井) | 12/27 | 兵庫ゴールドトロフィー JpnⅢ(園田) |
| 11/ 3 | JBCスプリント JpnI(大井) | 12/29 | 東京大賞典 GI(大井) |

歴史の ひとコマ 笠松競馬場

第1回全日本サラブレッドカップ

『笠松に3千万円レース誕生!』

地元のスポーツ紙にこんな見出しが躍ったのは、1988年の春頃だったと思う。

当時の地方競馬では、大井の東京大賞典や東京ダービーこそ優勝賞金が4000万円に増額されていたが、唯一のJRAとの交流戦である帝王賞でも初めて3000万円を超えたばかり。いかに笠松で3000万円という賞金が、超破格なものだったか! いや、それもそのハズ、地方競馬のナンバー1を決めるレースなのだから……。

そのレース名は『全日本サラブレッドカップ』

「笠松もやるな」

その頃はまだ電車の新米運転士だった私も、全国からどんな強者がやって来るのか、ワクワク胸躍る気持ちが強すぎて何回、駅をオーバーランしそうになったことか(笑)。

11月23日。北から北海道の女王フシミ



第1回全日本サラブレッドカップを制したフェートノーザン。鞍上は安藤勝己騎手

ラッキー、北関東の雄カツノコバン、このレースを勝つために金沢にトレードされたというシナノジョージ、そしてメッカ南関東からはイナリワンと、その名誉と高額賞金を求めて各地区を代表する夢のメンバーが笠松に集結。曇天ながらも当日の笠松競馬場は、実に12000人近くのファンを集め、私には経験がないほどの熱気が伝わってきた。

レースは小回りの長距離戦らしく、淡々とした流れだったが、残り600メートルを切ったあたり、地元の期待を集めていた安藤勝己騎手のフェートノーザンが一気にスパート!

前に行くシナノジョージ、カツノコバンを難なく交わし、4コーナー手前では2番手のイナリワンと逃げるヒデノファイターをも捕らえて先頭に立つと、鞍上の右ムチに鋭く反応して力強く抜け出した。

「第1回の優勝馬は、お前だ! フェートノーザン優勝!」。その後、数々の地方競馬の名勝負を名調子で伝えてくれた場内実況の及川サトルアナの絶叫も、大歓声にかき消されるようなゴールイン。2着のイナリワンに1馬身半の差をつけての栄冠だった。

その後、フェートノーザンは、翌年の帝王賞や新設されたブリーダーズゴールドカップで中央馬も撃破、ダート日本一の座を不動のものにしていた。しかし、第2回の全日本サラブレッドカップで故障し19日間の闘病生活の末、安楽死の処置が取られた。ファンが待望していたアメリカ遠征やロジータとの夢の対決が幻に終わったのは、残念というしかなかった。

一方、2着に敗れたイナリワンは、その後、中央入りして天皇賞・春、宝塚記念、有馬記念などを制し1989年のJRA年度代表馬に選出された。

小さな競馬場で開催された華々しいレースと、その後の競走馬の運命を感じた30年前のこのレースが、我が笠松でのベストレースとして今も強く記憶に残っている。

一岡 浩司 (いちおか こうじ)

電車の運転士から2003年にスカウトされ、笠松競馬場の場立ちの予想屋(屋号・大黒社)に転身。2016年、週刊『ギョロップ』エッセー大賞で編集部奨励賞を受賞。



第8回 知床賞

10月29日(日) 2歳 盛岡ダート1400m

ホッカイドウ競馬と岩手競馬に所属する2歳馬による交流重賞。2011年までは、両地区で1年おきに行われてきた(北海道で行われるときのレース名は「岩手山特別」、12年は門別と盛岡の両方で実施された)。その後は岩手開催に固定され、重賞となった12年以降の過去5回では、北海道所属馬が5勝、2着3回、3着4回と毎年好成績を残している。林和弘調教師の管



写真●岩手県競馬組合

2016年知床賞 ダンストンレガーム

理馬が5頭出走し3勝、2、3着各1回の好相性。13年ゴオリイ、15年のリックカグラなど勝ち馬3頭はいずれも単勝8番人気での激走だった。逆に、毎年ホッカイドウ競馬の2歳戦線を賑わせている角川秀樹、田中淳司調教師の管理馬は、このレースでも上位人気に推されることが多いものの、2着が最高で、配当妙味はあまりない。

第1回 兵庫ゴールドカップ

11月1日(水) 3歳以上 園田1230m

園田1230mで重賞が実施されるのは2010年まで行われていた園田フレンドリーカップ以来、7年ぶり。その間、兵庫競馬で地方馬限定の1400m以下の古馬重賞は、園田FCスプリント(820m)と園田チャレンジカップ(1400m)の2つのみで、短距離適性の高い馬は、他地区の重賞を使われることも多かった。しかし、今年、2月の園田ウインターカップ(1400m)に続き、このレースも新設されたことで、地元でのローテーションが組みやすくなった。園田1230メートルは、JRAを含む国内の競馬場でコーナー4つのツーターンでレースが行われる最短距離。スピードのある馬がハナを切ってしまうと、なかなか捕まえてくれないコース設定だ。

第6回 土佐秋月賞

11月26日(日) 3歳 高知1600m

高知競馬で実施される3歳重賞のラスト。黒潮皐月賞、高知優駿(黒潮ダービー)、黒潮菊花賞の3歳三冠路線で上位争いしてきた馬たちによる争いとなる事が多い。特に三冠目・黒潮菊花賞で連対していた馬は【4-2-2-2】の好相性で、そのうち二冠目・高知優駿でも連対していた馬が出走してきたときはすべて3着以内を確保。2014年は、二冠目、三冠目とも連対していた2頭による決着となった。12年(第1回)から一昨年までの3着以内馬12頭のうち11頭がJRAや他地区からの転入馬だったが、高知で2歳新馬戦が復活した最初の世代、昨年は出走馬中に2頭いた高知デビュー馬のディアマルコが1着、ハルノフェスタが3着とともに上位に入っている。



写真●高知県競馬組合

2016年土佐秋月賞 ディアマルコ

ばんえい競馬



場番号 帯広03#

●打ち上げ花火とグランプリ

北海道と言っても夏は暑い。特に帯広は7月15日にはその日、日本で最高となる37.1度を記録し猛暑日となった。タフさを誇るばん馬達も、さすがに37度にもなると夏バテになる。特にニュータカラコマやオレノココロなどは、暑さ対策に苦労する。厩舎内に大型扇風機を設置したり、周囲の散水などで大忙しである。

毎年8月に行われるばんえいグランプリは、夏の暑さを上手く乗り越えた馬が制すると言われているが、幸い8月に入り涼しくうちに気温も下がった。ばんえいグランプリ当日は、十勝川の河川敷で十勝毎日新聞社主催の花火大会も開催



8月13日 ばんえいグランプリ ニュータカラコマ

され、競馬場が花火見物の穴場の存在となっているために、花火見物やお盆の観光客も加わり、開門前から行列ができるほどのファンでスタンドは満杯である。道内有数の2万発の打ち上げ花火と7812人の観客、人気投票と賞金順で選ばれた10頭が、万全の仕上がりで大障害に挑んだばんえいグランプリ。役者と舞台装置は揃った。

スタートと同時に先行したのはファン投票4位タイのコウシュハウンカイ。同3位のニュータカラコマ、同1位のオレノココロは、いつもよりは早めに仕掛けるが、障害を1番手で抜けたのがコウシュハウンカイで、差のない2番手がニュータカラコマ。3番手にはファン投票4位タイのフジダイビクトリーで、ヒザを



7月30日 ばんえい大賞典 カネサススペシャル

ついたオレノココロと続くが、先行2頭の叩き合いで一騎打ち模様。直線では打ち上げ花火を背にニュータカラコマが、2着コウシュハウンカイに2秒5差を付けて、ばんえいグランプリ初優勝を飾った。勝ちタイムの1分49秒7はレースレコードタイムで、藤野俊一騎手の勝利インタビュー時にも、大輪の花火が彩りを添え、最高に熱いばんえいグランプリの1日は終了した。

文●小寺雄司

●ばんえい競馬重賞勝ち馬一覧 2017年6月～2017年8月

日付	レース名(条件)	距離	勝ち馬名(性齢)	騎手名	所属・調教師名
6/18	旭川記念(3歳以上)	200	オレノココロ(牡7)	鈴木恵介	ばんえい・梶館重人
7/2	柏林賞(4歳)	200	マルミゴウカイ(牡4)	藤本 匠	ばんえい・梶館重人
7/16	北斗賞(3歳以上)	200	ニュータカラコマ(牡9)	藤野俊一	ばんえい・尾ヶ瀬富雄
7/30	ばんえい大賞典(3歳)	200	カネサススペシャル(牡3)	大河原和雄	ばんえい・村上慎一
8/13	ばんえいグランプリ(3歳以上)	200	ニュータカラコマ(牡9)	藤野俊一	ばんえい・尾ヶ瀬富雄
8/27	はまなす賞(3歳・4歳)	200	ミノルシャープ(牡3)	阿部武臣	ばんえい・大友栄人

ホッカイドウ競馬

場番号 門別 06#

●地元で遠征に道勢が勇躍

今季も秋シーズンに突入し、一気にクライマックスへと向かっていく門別グランシャリオナイト開催。この秋も“強い2歳馬”を筆頭に、各世代のトップ級らが地元重賞も、遠征チャレンジも興味尽きない活躍を見せてくれるはずだ。

その筆頭に挙げたいのが、5歳にして悲願の道営記念制覇を狙うオヤコダカだ。今季は春初戦・コスモバルク記念から圧倒的な強さで重賞3連勝をマーク。8月には昨年から出走を目指していたJRA札幌のエルクステークスGⅢに挑戦。レコードタイムでの勝ち馬には直線で突き放されたが、3コーナーからの勝



8月1日 プリーダーズゴールドジュニアカップ サザンヴィグラス

負どころでは踏ん張りを見せ1秒4差の8着。“道営大将格”の意地は垣間見せてくれた。秋は9月の旭岳賞→10月の瑞穂賞→11月今季結びの一番・道営記念という王道路線を予定。悲願の古馬頂点に立つことができるのか、注目だ。

2歳では、デビュー3連勝で栄冠賞→ブリーダーズゴールドジュニアカップを連勝したサザンヴィグラスが砂路線では中心を務めそう。4戦目のオープン特別で不覚を取った(クビ差2着)ものの、JRA札幌2歳ステークスGⅢにも駒を進

めたダブルシャープ(勝ち馬からクビ+アタマ差の3着)を直線で突き放したパフォーマンスは圧巻の一語だった。牝馬ではフルールカップ勝ちボーダレスガールにリリーカップ勝ちストロングハートのほか、札幌2歳ステークスで7着と健闘したミスマンマミーアも主力を形成しそうだ。また、王冠賞7馬身差圧勝のスーパーステーションに北海優駿(ダービー)2着スカイロックゲートら3歳牡馬勢等々、シーズン閉幕後も含めた全国各地への遠征チャレンジにも是非、注目していただきたい。

文●ひだか応援隊

●ホッカイドウ競馬重賞勝ち馬一覧 2017年6月～2017年8月

日付	レース名(条件)	距離	勝ち馬名(性齢)	騎手名	所属・調教師名
6/1	北海優駿(ダービー)(3歳)	2000	ベンテンコゾウ(牡3)	村上 忍	岩手・菅原 勲
6/8	北海道スプリントカップJpnⅢ(3歳以上)	1200	ニシケンモノノフ(牡6)	横山典弘	JRA・庄野靖志
6/21	グランシャリオ門別スプリント(3歳以上)	1000	タイセイバンデット(牡6)	岩橋勇二	北海道・田中淳司
6/22	ヒダカソウカップ(3歳以上牝)	1600	ジュエルクイーン(牝5)	五十嵐冬樹	北海道・田中正二
6/29	栄冠賞(2歳)	1200	サザンヴィグラス(牡2)	五十嵐冬樹	北海道・川島洋人
7/6	星雲賞(3歳以上)	1600	オヤコダカ(牡5)	石川 倭	北海道・米川 昇
7/20	ノースクイーンカップ(3歳以上牝)	1800	ジュエルクイーン(牝5)	五十嵐冬樹	北海道・田中正二
7/27	王冠賞(3歳)	1800	スーパーステーション(牡3)	阿部 龍	北海道・角川秀樹
8/1	ブリーダーズゴールドジュニアカップ(2歳)	1600	サザンヴィグラス(牡2)	五十嵐冬樹	北海道・川島洋人
8/16	エトワール賞(3歳以上)	1200	タイセイバンデット(牡6)	岩橋勇二	北海道・田中淳司
8/17	ブリーダーズゴールドカップJpnⅢ(3歳以上牝)	2000	マイティティ(牝5)	池添謙一	JRA・本田 優
8/17	フルールカップ(2歳牝)	1000	ボーダレスガール(牝2)	服部茂史	北海道・田中淳司
8/31	リリーカップ(2歳牝)	1200	ストロングハート(牝2)	阿部 龍	北海道・角川秀樹

岩手競馬



場番号 盛岡11・水沢12#

写真●岩手県競馬組合

●ラブレット、レコード更新の走り

クラスターカップJpnⅢの直線、逃げる1番人気サイタスリーレッドを交わして先頭に立とうとするラブレットの姿を見て、盛岡競馬場は「トシヤ、トシヤ」の大声援になった。ゴール寸前でその声援はため息に変わってしまったが、ブルドッグボスとともに従来のレコードタイムを更新する1分8秒8で駆け、昨年同馬と4馬身あった差をクビまで詰めた走りは十分賞賛に値するだろう。短距離のダートグレード路線に参戦して3年目になるが、毎年ほとんど乱れることなく目標となるレースに使い続けて、なおかつ確実にパワーアップを果たしているのは見事というほかない。



8月15日 桂樹杯 コウセン

●実績馬の転入で厚み増す芝路線

同日に行われた芝の重賞、桂樹杯はJRA2勝、1000万級からの転入初戦コウセンが逃げ切った。これに続いた2～5着のブレイズアトレイル、カオスモス、ナリタスーパーワン、プリムラブルガリスはいずれもJRA芝のオープンクラス入着馬

●岩手競馬重賞勝ち馬一覧 2017年6月～2017年8月

日付	レース名(条件)	距離	勝ち馬名(性齢)	騎手名	所属・調教師名
6/3	かきつばた賞(3歳以上)	盛岡芝2400	サンエイゴールド(牡4)	山本聡哉	岩手・瀬戸幸一
6/4	早池峰スーパースプリント(3歳以上)	盛岡1000	エーシンシャラク(牡9)	高松 亮	岩手・板垣吉則
6/11	岩手ダービーダイヤモンドカップ(3歳)	水沢2000	キングジャガー(牡3)	高橋悠里	岩手・板垣吉則
6/18	一條記念みちのく大賞典(3歳以上)	水沢2000	エンバイアベガス(牡4)	村上 忍	岩手・佐藤祐司
6/25	ウイナーカップ(3歳)	水沢1400	オールザベスト(牡3)	山本政聡	岩手・櫻田康二
7/2	栗駒賞(3歳以上)	水沢1400	ラブレット(牡6)	山本聡哉	岩手・菅原 勲
7/8	ハヤテスプリント(3歳)	盛岡1000	ダNSTONリアン(牝3)	村上 忍	岩手・村上 実
7/9	オパールカップ(3歳)	盛岡芝1700	ブラックロード(牡3)	阿部英俊	岩手・佐々木由則
7/15	フェアリーカップ(3歳以上牝)	盛岡1800	ミラクルフラワー(牡5)	村上 忍	岩手・村上 実
7/16	岩鷲賞(3歳以上)	盛岡1200	ラブレット(牡6)	山本聡哉	岩手・菅原 勲
7/17	マーキュリーカップJpnⅢ(3歳以上)	盛岡2000	ミツバ(牡5)	松山弘平	JRA・加用 正
7/29	すずらん賞(3歳以上)	盛岡1600	イーグルカザン(牡9)	大坪 慎	岩手・橋 友和
7/30	せきせい賞(3歳以上)	盛岡芝2400	サンエイゴールド(牡4)	山本聡哉	岩手・瀬戸幸一
8/6	ひまわり賞(オークス)(3歳牝)	盛岡2000	ビービースペース(牝3)	瀧川寿希也	岩手・城地俊光
8/13	若鮎賞(2歳)	盛岡芝1600	ベストロード(牝2)	村上 忍	岩手・瀬戸幸一
8/15	クラスターカップJpnⅢ(3歳以上)	盛岡1200	ブルドッグボス(牡5)	左海誠二	浦和・小久保智
8/15	桂樹杯(3歳以上)	盛岡芝1600	コウセン(牡7)	山本政聡	岩手・櫻田康二
8/27	ビューチフルドリーマーカップ(3歳以上牝)	水沢1900	ジュエルクイーン(牝5)	吉原寛人	北海道・田中正二

で、全体のレベルは上がっているといえる。一方で実績馬が多数転入してくることにより、地元の重賞を勝った馬でさえ芝レースの出走枠に入れない事態が生じている。昨年の岩手最優秀ターフホース、岩手生え抜きのサンエイゴールドが王座を守るか、JRA出身の実績馬が牙城を崩すか。なかなか興味深い構図となっている。

文●深田桂一(ケイシュウニュース)

金沢競馬

場番号 41#

写真●石川県競馬事業局

●改名が奏功しての重賞制覇!?

馬名を変えると一転して走るようになり、重賞まで勝ってしまう出来事が金沢競馬であった。

最初の登録名は「ゴロウマル」。ラグビー日本代表の有名選手にあやかって名付けられたが、育成時から落ち着きがなく幼い気性に手を焼いた。金沢に入厩しても調教で馬場入りの際にゴネて立ち止まり、なだめて走らせようとしても暴れて騎乗者を振り落とそうとした。結局ラチにぶつかって大けがをしてしまい、能力検査も受けることなく牧場に強制送還。された。

しかし3歳となって馬名を「ムーンフ



8月1日 MRO金賞 ムーンファースト

ァースト」に変更して戻ってくると、気性が大人しくなって調教で乗り込めるようになった。手綱を任された栗原大河騎手も「以前のうわさは耳にしていたけど、跨がってみるとすごく乗りやすかった」と最初は半信半疑だったが、ようやく迎えた4月23日のデビュー戦でいきなり2着に突っ込むと「これは走る」と手応えをつかんだ。2戦目で後続を7馬身も引き離して初勝利を飾ると、その後も勝ち負けを繰り返しながら順調にクラスアップし、3歳重賞の北陸・東海・近畿交流戦「MRO金賞」まで駒を進めた。

MRO金賞では単勝9番人気と低評価だったが、栗原騎手は「距離が延びても持久力はあるので逃げればチャンスはある」とにらんでいた。その思惑通りに最



6月20日 石川ダービー ヴィーナスアロー

内枠から発馬を決めてペースを握ると、2番人気のヤマミダンスに詰め寄られながらも直線で伸び返して押し切った。栗原騎手はデビューからわずか2年3カ月での重賞初制覇となったが、それ以上に「この馬の強さを証明できてうれしい」と喜んだ。

文●中部地方競馬記者クラブ

●金沢競馬重賞勝ち馬一覧 2017年6月～2017年8月

日付	レース名(条件)	距離	勝ち馬名(性齢)	騎手名	所属・調教師名
6/11	百万石賞(3歳以上)	2100	トウショウブライド(牡7)	葛山晃平	金沢・佐藤 茂
6/20	石川ダービー(3歳)	2000	ヴィーナスアロー(牝3)	吉原寛人	金沢・金田一昌
7/25	金沢スプリントカップ(3歳以上)	1400	ライスエイト(牝3)	池田敏樹	笠松・加藤幸保
8/1	MRO金賞(3歳)	1900	ムーンファースト(牡3)	栗原大河	金沢・金田一昌
8/8	読売レディス杯(3歳以上牝)	1500	プリンセスパリュウ(牝7)	吉原寛人	大井・村上頼章
8/29	加賀友禅賞(3歳牝)	1300	パンダイクブラウン(牝3)	赤岡修次	金沢・中川雅之

笠松競馬



場番号 42#

●話題多かったくろゆり賞

ハイジャが6月の名古屋で馬スプリント優勝。7月にはライスエイトが金沢スプリントカップV。他場での重賞シーンでは随所に気を吐いた笠松勢。しかし、地元の夏競馬では重賞優勝ゼロに止まり、他地区に「馬場を貸す」寂しいレースが繰り返された。

今や地元のエース格に成長したハイジャに、連覇を狙ったサルバドールハクイが参戦した、くろゆり賞。しかし名古屋勢のワンツーフィニッシュを許した。脚部不安で休養を余儀なくされたカツゲキキトキトの復帰初戦でもあり、ファン注目の一戦。3番手でスムーズに流れに乗



8月15日 くろゆり賞 ヴェリイブライト

ったヴェリイブライトが、カツゲキキトと直線の激しい競り合いをハナ差制し、加藤聡一騎手にとって、昨年4月19日のデビュー以来、うれしい初重賞制覇だった。

「直線でキトキトに一度交わされたからゴールでは(優勝は)分からなかった。聞いた瞬間、最高にうれしかった。これまでたくさんいい馬に乗せていただいたおかげで重賞が勝てたと思います。これからも精進します」。初めて味わうタイトル制覇に、2年目の新鋭は目をキラキラさせた。

一方、勝ち馬からコンマ6秒差3着に終わったハイジャは厳しい流れが影響。果敢に先制し、主導権を握り通したが、2番手をキープした兵庫の馬に終始外からつつかれて、直線半ばから失速した。「控えるレースもできるタイプだけど、



7月13日 サマーカップ トランヴェール

スタートも良く、2枠だったからね。息がまったく入る流れじゃなかった。逃げ、先行馬の宿命だから仕方ないけど、競り合っては……」と佐藤友則騎手は敗因を冷静に振り返る。救いだったのは力負けというより、展開負けの要素が強かったこと。

センス馬ハイジャを筆頭にした笠松勢の反撃なるか。笠松秋競馬の一番のみどころになりそうだ。

文●中部地方競馬記者クラブ

●笠松競馬重賞勝ち馬一覧 2017年6月～2017年8月

日付	レース名(条件)	距離	勝ち馬名(性齢)	騎手名	所属・調教師名
6/28	クイーンカップ(3歳牝)	1600	ハヴァナイスディ(牝3)	丸野勝虎	兵庫・盛本信春
7/13	サマーカップ(3歳以上)	1400	トランヴェール(牡6)	永島太郎	兵庫・長南和宏
8/15	くろゆり賞(3歳以上)	1600	ヴェリイブライト(牡7)	加藤聡一	名古屋・川西 毅

名古屋競馬

場番号 43#

●ドリームズライン二冠制覇

名古屋の夏シーズン一番のトピック重賞はもちろん、3歳ナンパーワン決定戦・東海ダービー。一冠目の駿蹄賞を制した1番人気ドリームズラインが自慢の息の長い末脚を発揮し、昨年のカツゲキキトに続く二冠達成で大きくアピールした。大畑雅章騎手はこのレース連覇、川西毅調教師は通算5回目のダービー制覇だった。

ドリームズラインは駿蹄賞に続いて位置は後方から。ただ、スローな流れになったため、大畑騎手は1コーナー過ぎから外に導き、早々に上昇開始。向正面真



6月6日 東海ダービー ドリームズライン

ん中で先頭に並ぶと、3コーナーから差を詰めたサンタンパとデッドヒート。一度はサンタンパに交わされたが、直線の追い比べで再び突き放し、2馬身半差完勝だった。

「パドック、返し馬でも抜群の手ごたえ。実は自信がありました」。5度目のダービートレーナーに川西調教師が胸を張れば、ダービー連覇成功の大畑騎手も「全国を狙える馬だと思う」とエールを送った。「名古屋の重賞ハンター」川西調教師&大畑騎手タッグに、また1頭、スターホースが誕生した瞬間でもあった。

●レディスタッグに熱視線

そのドリームズラインを今後脅かす存在になりそうなのが、ダービー当日に転入初戦を迎えた3歳牝馬ポルタディソーニ。3歳戦を逃げ切り3連勝で飾り、初古馬挑戦だった秋桜賞トライアルのオ



6月20日 名古屋で馬スプリント ハイジャ

ープン特別・コスモス賞では2番手から鮮やか抜け出しでクリア。8月25日現在、当地無傷の4連勝中。

「控える競馬も対応できるのが分かったし、直線でまた突き放してくれた。きょうも強かったし、ますます今後に期待ができますね」と宮下瞳騎手は振り返った。ポルタディソーニ&宮下騎手。名古屋が誇る「レディスタッグ」の秋に、熱視線が送られることだろう。

文●中部地方競馬記者クラブ

●名古屋競馬重賞勝ち馬一覧 2017年6月～2017年8月

日付	レース名(条件)	距離	勝ち馬名(性齢)	騎手名	所属・調教師名
6/6	東海ダービー(3歳)	1900	ドリームズライン(牡3)	大畑雅章	名古屋・川西 毅
6/20	名古屋で馬スプリント(3歳以上)	800	ハイジャ(牡4)	佐藤友則	笠松・井上孝彦
7/17	名港盃(3歳以上)	1900	エインシニシバ(牡4)	田中 学	兵庫・橋本忠明

兵庫競馬



場番号 園田51・姫路52#

写真●兵庫県競馬組合

●摂津盃ワンツウ 4歳が秋の飛躍誓う

年2回行われるハンデ重賞のひとつ第49回摂津盃がお盆シリーズの最後を飾って8月18日、園田1700メートルで行われた。絶好の1番枠を引いた2番人気マイタイザン(55キロ)が主導権を奪って3コーナーから2番手以下を引き離し、一昨年の兵庫若駒賞、昨年の西日本ダービー以来3つ目のタイトルを獲得した。3馬身半差の2着にはハンデ頭57キロで3番人気エイシンニシパで4歳馬のワンツウ。

1番人気トランヴェール(56キロ)がスタート直後にトモを落として出遅れ、マイタイザンには楽なペースの逃げにな



8月18日 摂津盃 マイタイザン

った。「4コーナーでも手応えは十分だったし、勝てたと思いました」と杉浦健太騎手。3コーナー手前からスパートして、上がり3ハロンをレース最速の38秒1で走られては追走馬に出る幕はなかった。8番人気と人気を落としていた牝馬タガノトリオンフが2番手を追走から3着に踏ん張って3連単は3万4千円余の波乱になった。

今秋からは、さらに成長した4歳両馬マイタイザン、エイシンニシパが12月7日の総決算レース・園田金盃では同斤量(56キロ)での再戦が楽しみだ。3着タガノトリオンフは5着に敗れた7月28日の兵庫サマーQueen賞の雪辱を期し兵庫Queenカップ(11月9日)で連覇を目指す。園田金盃には姫山菊花賞前から始動予定の兵庫大賞典馬サウスウインド、摂津盃は10着に敗れたが連覇を狙

●兵庫競馬重賞勝ち馬一覧 2017年6月～2017年8月

日付	レース名(条件)	距離	勝ち馬名(性齢)	騎手名	所属・調教師名
6/15	兵庫ダービー(3歳)	園田 1870	ブレイヴコール(牡3)	川原正一	兵庫・諏訪貴正
6/29	園田FCスプリント(3歳以上)	園田 820	マルトクスパート(牡7)	田中 学	兵庫・田中範雄
7/28	兵庫サマーQueen賞(3歳以上牝)	園田 1700	ディアマルコ(牝4)	永森大智	高知・那俄性哲也
8/18	摂津盃(3歳以上)	園田 1700	マイタイザン(牡4)	杉浦健太	兵庫・新井隆太



7月28日 兵庫サマーQueen賞 ディアマルコ

うバズーカなども出走を予定している。

今年の暮れ、園田ファンにとっての大きな楽しみは、トウケイタイガーだ。7月9日のJRA遠征(中京・プロキオンステークスGⅢ)は7着に終わったが、9月1日の園田チャレンジカップを楽勝、暮れの兵庫ゴールドトロフィー JpnⅢ(12月27日)で名古屋・かきつばた記念JpnⅢに続いてダートグレードレース2勝目にアタックする。

文●池永博省(大阪日刊スポーツ)

高知競馬

場番号 55#

写真●高知県競馬組合

●新星登場！トレノ賞

7月23日に行われた第14回トレノ賞は、新星登場の一戦となった。4月の福永洋一記念5着から約3カ月の休養を挟み、復権を期したサクラシャイニーが1番人気に推されたが、全盛期のスピード、反応がなく9着と敗退。対照的に、好位のインから楽々と抜け出したのがヒロノカイザーだった。同馬は昨年10月、JRA3戦未勝利の身で高知競馬へ移籍すると素質が開花。移籍2戦目からは7連勝をマークし、4月のJRA500万下交流・桂浜盃を制するなど出世を果たしていた。トレノ賞では2番人気に推されたように、ファンの期待は大きかったわけだが、重賞初挑戦での勝利は見事という他



7月23日 トレノ賞 ヒロノカイザー

ない。ちなみに、鞍上は現調教師の中西達也元騎手。怪我で療養中だった佐原秀泰騎手の代打騎乗であり、同時に現役最後の重賞騎乗となったが、最高の仕事で締めくくるあたりはさすが。記憶に残るトレノ賞となった。

●カッサイが2度目の重賞制覇！

8月27日に行われた第40回建依別賞は、1番人気カッサイが見事な逃げ切り。今年2月の黒潮スプリンターズカップ以来、2度目の重賞制覇を果たした。当日は良馬場発表ながら、時計の出やすい先行有利な馬場。先手を奪い、ペースを落とした時点で勝負あり！の印象があったが、永森大智騎手の見事なエスコートが光った一戦でもあった。春先は成績が伴わず、かつての強さが見られない時期が続いたが、6月の園田FCスプリント2着を契機に上昇カーブ。紆余曲折ありな



8月27日 建依別賞 カッサイ

がら、ここまで立て直した陣営の手腕は賞賛に値する。今後も高知競馬を代表する1頭としての活躍が期待できるだろう。一方、2番人気に推されたトレノ賞馬ヒロノカイザーは9着。残念な結果となったが、不向きな展開で不完全燃焼に終わった印象がある。まだまだ成長の余地を感じさせる4歳馬。秋の重賞戦線での巻き返しを期待したい。

文●風間恒一(中島高級競馬塾)

●高知競馬重賞勝ち馬一覧 2017年6月～2017年8月

日付	レース名(条件)	距離	勝ち馬名(性齢)	騎手名	所属・調教師名
6/18	高知優駿(黒潮ダービー)(3歳)	1900	フリビオン(牡3)	中西達也	高知・炭田健二
7/23	トレノ賞(3歳以上)	1300	ヒロノカイザー(牡4)	中西達也	高知・細川忠義
8/27	建依別賞(3歳以上)	1400	カッサイ(牡6)	永森大智	高知・雑賀正光

佐賀競馬



場番号 61#

●秋冬戦線の期待馬は？

吉野ヶ里記念はマサヤが逃げ切り勝ちを収め、5月からの連勝を4に伸ばして、S1重賞初制覇を達成した。しかし、キョウワカイザー等、冬から春の重賞戦線での活躍馬が揃って休養しており、対戦相手に恵まれた感はあるが否めない一戦だった。マサヤはその後、サマーチャンピオンJpnⅢに出走。JRA勢とともに先行策を取り、向正面で後退して7着に敗退したが、佐賀勢最先着は確保。強敵との対戦経験を、休養から復帰する馬との対戦となる秋以降に活かしたいところだ。

スーパーマックスは、九州ダービー栄城賞の勝利後、高知優駿（高知）へ遠征したが、優勝争いから脱落した後に競走



7月23日 吉野ヶ里記念 マサヤ

中止と残念な結果だった。しかし、その次走の大大川賞では早くも古馬A級と対戦し、2着に2秒4もの差を付けてレコード勝ちと圧巻の内容だった。九州大賞典では、2009年ミヤノオードリー以来となる3歳馬の優勝も十分期待できそうだ。

今年最初のJRA認定競走（7月17日）

を勝利したマイメンは、JRA小倉のフェニックス賞へ遠征し、後方からの競馬も直線で脚を伸ばしての8着だった。6月20日の2歳1組で同馬に勝利し、2戦2勝のザワールド（スーパーマックスの半妹）とともに、九州ジュニアチャンピオンでの活躍が期待されるところだ。

文●上妻輝行

●佐賀競馬重賞勝ち馬一覧 2017年6月～2017年8月

日付	レース名(条件)	距離	勝ち馬名(性齢)	騎手名	所属・調教師名
6/3	鶴見岳賞(3歳以上)	1400	テイエムサンビラー(牝4)	倉富隆一郎	佐賀・川田孝好
6/10	遠賀川賞(3歳以上)	1800	ダンシング(牝5)	小松丈二	佐賀・真島元徳
6/17	夏至賞(3歳)	1400	ロトスキャンダル(牡3)	真島正徳	佐賀・真島元徳
6/24	水無月賞(3歳以上)	1400	マサヤ(牡6)	山口 勲	佐賀・東 眞市
6/25	黒髪山賞(3歳以上)	1400	イッセイイチャイ(牡5)	山口 勲	佐賀・東 眞市
7/1	文月賞(3歳以上)	1750	ガールズライン(牝5)	吉田順治	佐賀・山田義人
7/2	佐賀ヴィーナスカップ(3歳以上牝)	1400	エイシンアトロポス(牝5)	田中 学	兵庫・渡瀬寛彰
7/8	大大川賞(3歳以上)	1800	スーパーマックス(牡3)	鮫島克也	佐賀・九日俊光
7/16	カンナ賞(3歳以上)	1800	トモジャワール(牝4)	川島 拓	佐賀・土井道隆
7/22	大村湾賞(3歳以上)	1400	サブール(牡4)	山口 勲	佐賀・東 眞市
7/23	吉野ヶ里記念(3歳以上)	1400	マサヤ(牡6)	山口 勲	佐賀・東 眞市
8/1	久住山賞(3歳以上)	1750	ガールズライン(牝5)	吉田順治	佐賀・山田義人
8/5	池田湖賞(3歳以上)	1800	イッセイイチャイ(牡5)	山口 勲	佐賀・東 眞市
8/12	新涼賞(3歳以上)	1800	ガールズライン(牝5)	吉田順治	佐賀・山田義人
8/16	サマーチャンピオンJpnⅢ(3歳以上)	1400	ラインジュナイダー(牡5)	武 豊	JRA・沖 芳夫
8/16	霧島賞(3歳以上九州産)	1400	キヨマサ(牡5)	内田博幸	兵庫・松浦聡志
8/20	志布志湾賞(3歳以上)	1400	サブール(牡4)	山口 勲	佐賀・東 眞市

10月～12月 注目レース 笠松競馬 データ分析

11/22 笠松グランプリ

●ダートグレード入着級の実力は必要

◇長距離輸送となる北海道、岩手、佐賀の所属馬は、やはり勝算があつての参戦か、2013年エスワンプリンス（佐賀）、15、16年と連覇したラブバレット（岩手）が勝利を挙げており、16年2着オヤコダカ（北海道）のほか、3着1回（その他4着1回）と好成績を残している。

地方全国交流で争われる笠松の古馬2大レースといえば、春のオグリキャップ記念（2500m）と、秋の笠松グランプリ。ここ

南関東勢は過去5年では毎年1頭以上3着以内に入線。16年は、1頭だけ参戦のサトノタイガー（浦和）が3着に入ったが、複数頭が出走している場合、5年前を除き単勝3番人気以内に推されている馬は連対を外していない。

◇基本的には、過去1年以内に1400m以下のダートグレードで掲示板に載っている馬が強い。近2年では、同条件に当てはまる馬がのべ6頭出走し、すべて3着

では、笠松グランプリが全国交流になった2012年以降の過去5年分から傾向を探っていく。

以内に入っている。地元東海勢が馬券に絡んだのは2012年だけだが、1着エーシクールディ（笠松）は同年のかきつばた記念JpnⅢ・4着、2着ラブミーチャン（笠松）は前々走で東京盃JpnⅡを制している実績があった。前年の勝ち馬が出走してきたときは、2勝、3着1回。4歳（特に他地区の牡馬）は出走が6頭と少ないが、好成績を残している。

実施日	レース名	距離	前年の勝ち馬(所属)
10/13(金)	岐阜金賞(3歳)	1900m	エイシンニシパ(兵庫)
11/9(木)	ラブミーチャン記念(2歳牝)	1600m	ヤマミダンス(金沢)
11/22(水)	笠松グランプリ(3歳以上)	1400m	ラブバレット(岩手)
12/30(土)	ライデンリーダー記念(2歳牝)	1600m	イスタナ(笠松)
12/31(日)	東海ゴールドカップ(3歳以上)	1900m	アサクサポイント(名古屋)

年次	枠番	馬番	馬名(所属)	性齢	重量	騎手	調教師	タイム・着差	人気	通過	前走	2走前
16.11.24	3	3	ラブバレット(岩手)	牡5	57	山本聡	菅原勲	R1.23.6	2	1-1-1-1	水沢・青藍賞②	クラスターC JpnⅢ③
笠松1400m	6	6	オヤコダカ(北海道)	牡4	57	石川優	米川昇	1 1/2	1	2-2-2-2	門別・道営記念②	門別・瑞穂賞①
晴・良 10頭	2	2	サトノタイガー(浦和)	牡8	57	岡部誠	小久智		5	4-3-3-3	大井・オープン特別⑤	JBCスプリントJpnI⑤
15.11.26	10	10	ラブバレット(岩手)	牡4	57	山本聡	菅原勲	1.25.1	2	3-4-2-2	盛岡・絆C④	クラスターC JpnⅢ③
笠松1400m	8	9	サトノタイガー(浦和)	牡7	57	左海誠	小久智	1 1/2	1	2-2-1-1	JBCスプリントJpnI⑥	大井・準重賞①
曇・重 9頭	4	4	エブソムアーロン(高知)	牡11	57	永森大	雑賀正	1 1/2	3	6-6-5-3	高知・黒潮マイルCS③	オーバルスプリントJpnⅢ⑦
14.11.27	5	5	ジョーメテオ(浦和)	牡8	57	東川公	小久智	1.24.3	3	8-7-4-1	大井・準重賞②	大井・マイルGP⑦
笠松1400m	3	3	ゴードー(大井)	牡6	57	吉原寛	赤嶺本		4	4-4-5-4	大井・マイルGP③	大井・準重賞②
晴・重 10頭	8	10	エスワンプリンス(佐賀)	牡5	57	鮫島克	手島勝	1 1/2	2	3-3-3-2	JBCスプリントJpnI⑨	佐賀・A1特別②

ジョッキータビュ

取材・文●浅野靖典

吉井友彦騎手は2014年と15年の笠松リーディング。しかし昨年と今年は5位前後という状況になっている。

リーディングを取ったところは、流れが良かったということに尽きますね。第1レースから第6レースまで6連勝したこともありまして、10勝以上してくれた馬もいました。そういう巡り合わせも大きかったと思います。それでも、その流れに自分自身がうまく乗れたのは確かですね。レースのなかで勝ちパターンが見えてくるというか、そういう感覚がありました。でも今はそれがあまりないんですよ。たまに見えるときもあるんですが、なかなか続かなくて。

その原因はどういうところにあると分析しているのだろうか。

昨年(2016年)は特にそうだったのですが、あせりすぎて失敗するケースがありました。勝ちたい気持ちが前に出すぎると馬との呼吸が合わなくなることが多くなって、いいことなんてひとつもないんですけど。それを踏まえて、今は以前よりも目の前のひと鞍ひと鞍を大切に、という思いを強くして乗っています。

そういう考えに至るにあたって、そのきっかけといえるレースがあったそうだ。

リックタラキチでクイーンカップを勝ったときなんです(2014年)、重賞での断然人気なんて久しぶりで、スタート前にゲート裏で緊張していたんですよ。そうしたら岡部(誠)騎手に「お前が緊張してどうするの。走るの馬なんだぞ」と言われて、そうか、そうだよなと思ったら気持ちがすごく楽になって、それで結果も伴ったんです。僕はけっこうゲン担ぎをするタイプ。それは勝負師という感じで、悪いことではないと思うのですが、「この間はこれを食べたから次もこれ」とか「この靴下を使ってダメだったから次は別のもの」とか、僕の場合はそれがちょっと多すぎるんです。要は、いろいろなことを気にしすぎ。思い返すと、結果が出ないときはそういうことが良くない方向でつながっている感じがします。岡部さんが言うとおり、競馬ってどれだけ自分が頑張るかじゃないんです



写真●(C) fanfan/H.Taniguchi

名古屋所属のサザンオールスターで新緑賞を制覇

よね。どれだけ馬のジャマをしないで走らせられるかなんかと思うんです。

それでも今年は名古屋所属馬で重賞を勝つことができた。

昨年あたりから、名古屋の馬が笠松に来るときに依頼していただけるケースが増えてきました。これまで笠松以外の馬で重賞を取れるなんて考えたことがなかったですよ。新緑賞を勝たせてくれたサザンオールスターもそうですが、弥富トレンセンでの調教に乗ってもいないのに指名していただけるのは、ありがたいことだと思います。その意味で、新緑賞は格別にうれしい勝利でした。

3年ほど前、近い目標としては3つあると話していた。そのうち「リーディング」と「笠松の交流戦をJRAの馬で勝つ」は実現。あとひとつ「JRAでの勝利」も近いところまで来た。1月28日の中京競馬で、9番人気の馬で2着に粘ったのだ。

あのときは最後の直線に入ったところで「あれ?勝つってこういうこと?」みたいな感触がありました。4コーナーでの手応えもよかったですし、惜しかったですね。ちょうどその前に筒井騎手と「勝つんだったら人気のない馬であっさり、みたいな感じになるんじゃないのかな」という話をしていたところでしたし、なおさら。(佐藤)友則さんの初勝利もすごい人気薄でしたものね。乗る馬が多かったのはエージェントさんのおかげですが(名古屋のサザンオールスターも含めて8鞍)、近いうちにJRAで勝つことは大きな目標です。

吉井騎手は競艇選手など、他のプロスポーツ選手との交友関係が広い。

そうですね、よく遊びに行きますよ。話をして刺激を受けるところも多いです。こちらは仕事がほとんど毎日ありますが、皆さんが僕の都合に合わせてくれるのでありがたいです。競艇は乗ってみてのフィーリングが重要だと思うのですが、馬は生き物。自分で仕上げていく部分が多いですからね。笠松開催がないときは、午前1時半から乗り始めて、だいたい8時ぐらいまで。夏は太陽が出てきたらもう暑いですよ。だから調教というよりは、状態を維持させるための調整という感じになりますね。そういう状況でも、馬は日々の変化があります。だからこそ、1頭1頭に対していねいに接していこうと考えています。

そして当然、リーディングを奪還したいという思いも持っている。

(向山)牧さんや東川(公則)さんはペースを読むのがうまいと思います。向正面の

吉井友彦 (笠松)

よいし ともしこ



1983年11月16日生まれ さそり座 AB型

京都府出身 森山英雄厩舎

初騎乗/2001年4月22日

地方通算成績/6,356戦775勝

重賞勝ち鞍/新緑賞、ラブミーチャン記念、ライデンリーダー記念、クイーンカップ、ジュニアクラウン

服色/胴白・青ダイヤモンド、そで青

※2017年8月20日現在

坂の手前から仕掛けたとき、その2人は最後まで粘らせることができるんですが、僕はまだまだ。そういうところを見習いたいと思います。それから最近とはときどき、ノーザンファームしがらきなどの育成場を訪問して、調教に乗せていただいています。坂路で乗れることも含めて、いい経験になりますね。馬のレベルも違いますし……。

笠松競馬場のキャッチフレーズは「名馬・名手の里」。しかしラブミーチャンを最後に、笠松から全国区で活躍する馬は登場していない。

そこが問題なんですよ。他地区の馬に笠松の重賞を持っていられることが多くなっていますし。いろいろと理由はあるとは思いますが、看板馬が出てこないということには、もどかしいという思いがあります。

とはいえ、騎手は日々の仕事をしていくことしかできないという面がある。

毎日の仕事をしっかりと、そういう馬が出てきたときに巡り会いたいですね。僕が所属している森山厩舎では、先生の息子さん北海道から帰ってきてスタッフに加わってくれました。そのぶん、僕がほかの厩舎の手伝いに行ける余裕ができています。

デビューから今年で17年目。笠松競馬は騎手の人数は少ないが、年齢的には吉井騎手を含めて30代前半が多い。

自分を含めてもっと世代交代を進めていかないと。これからの自分の課題としては、気合いを入れすぎないようにすることですね。と同時に、上を目指す思いを持ちながら。昨年のワールドオールスタージョッキーズは札幌競馬場まで観に行きました。永森騎手の応援はもちろんですが、もしかしたら自分が出場していたかもしれない舞台の空気感を味わってみたかったです。馬場の上とスタンドからとでは見える景色は違うんですが、あれは行ってよかったですね。あの札幌で、改めてここに出場したいという思いを新たにしました。

トップジョッキーに コースの特徴を聞きました

取材・文●浅野靖典

向正面の坂がポイント

笠松競馬場は名古屋競馬場と1周の距離が同じだが、直線部分の距離は名古屋より33m長く、4コーナーを曲がり終えてからゴールまでの距離も7m長い。馬場で使用されている砂は同じ。しかし笠松のほうが速いタイムが出る傾向がある。

その理由を吉井友彦騎手に聞くと、「笠松は名古屋よりも馬と馬との間隔が狭いという感じがします。先行タイプが有利ですし、以前よりもさらに先行争いが激しくなっているように思います」

確かにレース映像を見ると、名古屋よりも各馬がコースロスなく進んでいる感じがする。とはいえ「先頭に立つと目標にされることが多いので、2番手か3番手で進めるのがベストでしょうね」

筒井勇介騎手も「最近では先手を主張すると残れないことが多くなっている気がします。今は逃げ馬を前に見る形のほうが有利だと思います」と話していた。

また、高低差がゼロの名古屋とは違い、笠松には向正面に上り坂と下り坂がある。その坂は勝負ポイントにもなっているようで、佐藤友則騎手によると、「ペースによって仕掛けのタイミングは違いますが、流れが遅いと感じたら坂の上りで仕掛けていきますね。そうすると、下り坂でさらに勢いをつけられますから」

向正面の坂をうまく使えるかどうかで、結果が変わるところもあるようだ。

かつてのトップジョッキー、尾島徹調教師も「坂は仕掛ける場所ですね。坂の上りでペースが落ちたとき、そこで一気に動いていくと、きれいにハマることがよくありました。ちょうど向正面にある小屋のあたりが目印ですね。全体的には1～2コーナーでペースが落ち着いて、3コーナー手前の坂の下りから流れが速くなることが多いんですが、僕はその一歩先に行く、みたいな形で坂を利用していました」

内外にあまりバラけない馬群と坂の存在が、笠松競馬を面白くしている要因のひとつになっているといえそうだ。

1600mは内枠有利

笠松競馬場で行われるレースは大半が1400mまたは1600m。佐藤騎手からは、「1400mなら枠順は関係ないですね。でも1600mになると外枠はちょっと厳しい。先行したいタイプなら4番くらいまでか

な。逃げたい場合は絶対に内枠じゃないと」とのこと。

大塚研司騎手も「1400mはどの枠でも差はないですね。逆に外枠のほうが、先行争いが激しくなったときに巻き込まれず、いい位置で前の馬をマークできる可能性が高くなると思います。また、最近の成績がイマイチという馬が外枠に入ったら、強気に攻める競馬をさせるケースがあります。それまでと違う競馬を試すときは外枠ですね」

それでもやはり逃げ先行型は有利なようで、今年デビューの渡邊竜也騎手は、「最初のころは仕掛けが遅くなりがちでよく怒られたので、最近は積極的に行くことを心がけています。そうしたら結果も伴ってきました」と、前有利を強調。吉井騎手は「減量騎手の斤量差がけっこう効くコースだと思います。JRA交流戦では、減量があるJRA所属騎手が上位に入ることが多くなっていますし」と、分析していた。

砂の深さは要チェック!

しかしながら、日ごろから乗っている騎手は笠松の馬場が体に染みついているということで、気がついていない「コースの特徴」があるかもしれない。そのあたりを含めて第三者的な視点から、笠松競馬場内で予想業をしている一岡浩司さんに、予想する際に注意すべき点を聞いてみた。

「開催初日に確認してほしい点は、専門紙を見て、馬場に砂を補充したかどうか。ただ、砂を入れても厚さが均一になっているのか、それとも内が深くなっているのかわからないので、最初のレースで様子



見ることが重要です。それが騎手心理にも影響を与えることがよくありまして、前半のレースでは差しが決まっていたのに、いきなりスローペースが続いて前残りが連発することがけっこうあります」

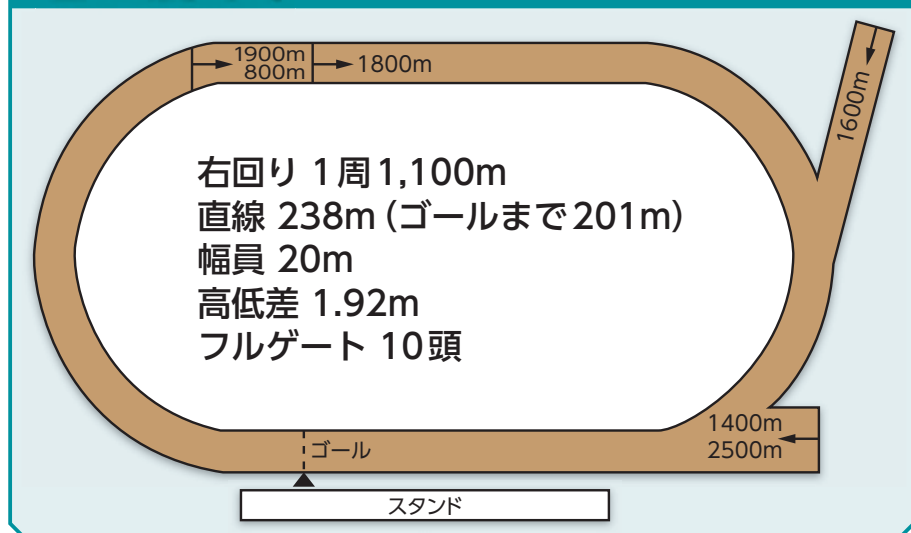
そこは各騎手も悩ましく感じているようで「早朝の調教では深いと思ったのに、同じ日のレースではそうでもなかったりして。開催初日の前半のレースはみんな様子を見る感じで乗っていますね」と、大塚騎手。東川公則騎手も「今回の開催前日に石拾いで馬場を歩いたときは“深いな”と思ったんですが、実戦で乗ってみたら普通でした」と、苦笑いをしていた。

そういった特徴がある笠松競馬場を、記者席から笠松競馬を見続けている専門紙『競馬エース』の竹中嘉康さんにも解説してもらった。注意点としては、「外枠で好走して今回が内枠、それで人気になっている馬は疑ったほうが良いと思います。1400mは枠順の有利不利があまりなくても、内枠で先行できずに凡走するケースは多いですから。その逆もあって、前走が内でもまれて力を出し切れなかった馬が外枠で一変する場合があります。実力があるのに凡走した馬の、そのレース内容をチェックすると宝の山にありつきますよ」

また、笠松競馬にはJRA未勝利から転入してくる馬も多い。

「転入初戦で馬体が増えているのは気にしないでいいですが、減っているのは良くないですね」とのこと。このあたりも笠松競馬で勝負する際のヒントになりそうだ。

笠松競馬場



笠松競馬場

サイヤーランキング

取得賞金 & 勝利数

2015年8月1日～2017年8月5日

■総合(2067レース) 取得賞金ランキング

種牡馬名	取得賞金(千円)	1着	出走回数	出走回数	活躍馬(取得賞金順)
サムライハート	26,229	50	463	38	キングレイジング
サウスヴィグラス	24,914	56	437	37	サルパドールハクイ
ノボジャック	21,052	3	72	5	ラブパレット
ヴァーミリアン	19,315	42	271	31	メディタレーニアン
プリサイスエンド	18,571	49	300	21	ホッコージョイフル
キングヘイロー	16,182	24	158	25	メモリージルバ
シニスターミニスター	15,493	24	96	17	ハイジャ
キングカメハメハ	15,396	33	173	29	アサクサポイント
タニノギムレット	12,429	29	350	34	クワイアースウル
タイキシャトル	12,252	40	215	30	レモンティー

■800m(83レース)

フリオーソ	2,690	3	4	3	マーメイドモアナ
サムライハート	1,698	2	21	10	ワンダフルナイト
サウンドボルケーノ	1,480	2	2	1	フローレンス

■1400m(1581レース)

サムライハート	20,723	40	369	38	キングレイジング
ノボジャック	20,595	3	47	5	ラブパレット
ヴァーミリアン	17,415	40	237	28	メディタレーニアン

■1600m(357レース)

サウスヴィグラス	9,083	16	120	25	サルパドールハクイ
シニスターミニスター	7,399	7	23	9	ハイジャ
プリサイスエンド	6,281	9	65	14	ホッコージョイフル

■1800m(35レース) + 1900m(9レース)

マヤノトップガン	6,230	4	5	3	マヤノクレド
メジロベイルー	3,775	3	4	1	ヴェリイブライト
キングヘイロー	3,643	2	13	3	メモリージルバ

※2500mはレース数が少ないため割愛した

勝利数ランキング

種牡馬名	1着	2着	出走回数	出走回数	勝利回数	活躍馬(勝利数順)
サウスヴィグラス	56	45	437	37	21	サンダルエチケット
サムライハート	50	76	463	38	19	セブンサムライ
プリサイスエンド	49	34	300	21	14	ホッコージョイフル
ステイゴールド	46	50	336	41	15	ラフレシア
ヴァーミリアン	42	43	271	31	16	メディタレーニアン
タイキシャトル	40	34	215	30	16	レモンティー
ゼンノプロロイ	37	16	191	26	8	シークレットオース
ディープスカイ	36	36	218	19	13	デアニ
メイショウボーラー	34	41	280	37	13	シエロアスール
ダイワメジャー	34	28	229	32	11	ルーヴルヴォイス

ゴールドアリュール	4	1	6	3	3	ブルーミングランド
カネヒキリ	3	1	9	5	2	カミノアシ
プリサイスエンド	3	0	7	3	2	リリボン

サムライハート	40	58	369	38	18	セブンサムライ
ステイゴールド	40	42	258	35	15	サブマリン
ヴァーミリアン	40	38	237	28	15	メディタレーニアン

サウスヴィグラス	16	12	120	25	10	ビービーガザリアス
ゼンノプロロイ	13	3	43	17	6	セイウンエオリア
ジャングルポケット	10	14	47	14	7	カラジャス

マヤノトップガン	4	0	5	3	2	マヤノクレド
ネオユニヴァース	3	1	11	5	2	ナスノアバ
エンパイアメーカー	3	0	8	4	2	ナムラカガヒメ

重賞勝ち馬の血統を読む

文●平出貴昭(サラブレッド血統センター)

金沢スプリントカップ
ライスエイト2014年5月2日生 牝 黒鹿毛 笠松・加藤幸保厩舎
生産・高昭牧場(浦河郡浦河町)

キングヘイロー 鹿毛1995	ダンシングブレーヴ(USA)	Lyphard
	鹿毛1983	Navajo Princess
ライスフラワー 青鹿毛2004	グッバイヘイロー(USA)	Halo
	栗毛1985	Pound Foolish
	フジキセキ	サンダーサイレンス(USA)
	青鹿毛1992	ミルレーサー(USA)
	タカノミッフィー(USA)	Seattle Slew
	鹿毛1996	Very Confidential

今回は対象期間内に笠松の重賞を制した地元馬がいなかったため、7月25日に金沢で行われた金沢スプリントCを制した笠松のライスエイトを取り上げる。

同馬は今年2月、4戦0勝の成績でJRAから笠松へ移籍。7戦4勝、2着3回と安定した成績を続けて6月のクイーンCに出走も9着。その後1戦を経て、初の遠征&古馬との対戦となった同レースで重賞初制覇を果たした。

父キングヘイローは凱旋門賞馬で欧州年度代表馬のダンシングブレーヴ×ケンタッキーオークスなど米GI・7勝のグッバイヘイローという超良血で、現役時代に高松宮記念を勝った馬。種牡馬としてもオーク

ス、秋華賞のカワカミプリンセス、スプリンターズSと高松宮記念を勝ったローレルゲレイロなどを出し成功を収めている。

地方競馬でも素晴らしい成績を残しており、2013年JBCレディスクラシックなど重賞6勝のメーディア、2007年ダイオライト記念のキクノアロー、2007年サマーチャンピオンなど重賞11勝のキングスズーン、2011年黒潮盃を勝ったオオエライジンなど、数々の名馬を送り出している。

キングヘイロー産駒が地方競馬で積み重ねた勝利数は8月現在で2300を超え、歴代の地方リーディングサイヤーであるミルジョージ、ワカオライデン、プライアンズタイムなどを上回り、筆者調べではアジュディケーティング、サウスヴィグラス、パークリージェントに続く、実に歴代4位。地方サイヤーランキングでの最高位は2013年の4位で、昨年は21位であり、この数字には驚きを感じる人も多いことだろう。2010年から2014年にかけては5年連続で200勝以上とコンスタントに勝利を挙げており、産駒も芝のクラシックホースからスプリンター、そしてダートのチャンピオンホースまで、様々なタイプの馬を出す万能種牡馬なのである。

母系を見てみよう。母ライスフラワー



写真●石川県競馬事業局

金沢に遠征して重賞初制覇となったライスエイト

はJRA6戦0勝、祖母もJRA22戦1勝と地味な成績だが、母はフジキセキ×シアトルスルーという名種牡馬同士の配合。ちなみに、シアトルスルーは前述のカワカミプリンセスの母の父でもある。

さらに遡ると、6代母レイディビーグッドは世界的な大牝系の始祖となっており、英ダービー馬モチヴェイター、クイーンエリザベス2世Sのジルザルなど多くの名馬が出ている。日本の地方競馬でも名古屋大賞典を勝ったアルドラゴンが同族で、キングヘイロー産駒がダートに強いのも頷ける。

というのも、実は父キングヘイローもこの牝系に属しており、本馬はレイディビーグッド6×6のクロスを保有している配合馬。ヘイロー3×4のクロスも、シンハライト、ヴィブロスなど最近のGI馬続出の成功パターンだ。

牝馬クロスや濃いクロスを持った馬は、牝牝問わず繁殖馬として成功する例も多く、本馬が繁殖入りした際には大いに期待できそうだ。気が早い話だが楽しみにしたい。

Dirt Grade Data 作戦

データ分析 ● 小田原智大

第37回 白山大賞典

JpnⅢ

10月3日(火)

金沢 2100m

3歳以上

1着賞金 2100万円

フルゲート 12頭

16.10.4 金沢 2100m 晴・良	8 ⑫ ケイティブレイブ (JRA) 牡 3 55 武 豊 2.15.1 1人 5 ⑤ アムールプリエ (JRA) 牝 5 57 濱中俊 1 3 6 ⑧ ストロングサウザー (JRA) 牡 5 55 田邊裕 1/2 4
15.10.6 金沢 2100m 晴・良	1 ① マイネルバйка (JRA) 牡 6 54 柴田大 2.14.9 4人 3 ③ エーシンモアオーバー (JRA) 牡 9 58 岩田康 1 1/2 2 5 ⑥ ソリタリーキング (JRA) 牡 8 58 福永祐 1 1/2 3
14.10.7 金沢 2100m 晴・重	2 ② エーシンモアオーバー (JRA) 牡 8 57 岩田康 R2.12.5 4人 10 ⑩ サミットストーン (船橋) 牝 6 54 吉原寛 3/4 2 5 ⑤ グラツィア (JRA) 牝 6 54 濱中俊 3 3
	単勝① 210円 枠連複(5-8) 400円 馬連複(5-12) 430円 枠連単(8-5) 650円 馬連単(12-5) 720円 3連複(5-8-12) 570円 3連単(12-5-8) 2,280円 単勝② 1,010円 枠連複(1-3) 1,160円 馬連複(1-3) 1,030円 枠連単(1-3) 2,480円 馬連単(1-3) 2,540円 3連複(1-3-6) 860円 3連単(1-3-6) 6,670円 単勝③ 510円 枠連複(2-8) 1,100円 馬連複(2-10) 1,040円 枠連単(2-8) 2,360円 馬連単(2-10) 2,190円 3連複(2-5-10) 1,590円 3連単(2-10-5) 8,870円

●3歳で勝てればGI/JpnI級?

過去10年で3歳馬が勝ったのは、スマートファルコンと昨年のケイティブレイブ。ともに後にGI/JpnIを制することになった。その他にもアドマイスバル、ニホンピロアワーズといった馬が勝利しており、同年のJBCやチャンピオンズカップにつながる傾向がある。そのため、基本的には重賞勝ちの実績は常に求められる。また、2100mというやや長い部類の距離だけに、そのあたりの実績も重要だ。ただし、斤量はできるだけ軽いほうがいい。昨年は牝馬のアムールプリエが57キロだったが、その分の2着ともえる。過去10年の優勝馬の斤量は57キロ以下となっている。

第51回 東京盃

JpnⅡ

10月4日(水)

大井 1200m

3歳以上

1着賞金 3500万円

フルゲート 16頭

16.9.22 大井 1200m 曇・不良	8 ⑭ ドリームバレンチノ (JRA) 牡 9 58 岩田康 1.11.9 4人 2 ③ コーリンベリ (JRA) 牝 5 56 松山弘 2 3 4 ⑦ プラチナグロース (川崎) セン 6 56 真島大 アタマ 7
15.9.30 大井 1200m 晴・稍重	8 ⑮ ダンレジェンド (JRA) 牡 5 56 M.デムーロ 1.10.9 1人 7 ⑫ ドリームバレンチノ (JRA) 牡 8 58 岩田康 2 4 10 ⑩ コーリンベリ (JRA) 牝 4 54 松山弘 2 2
14.10.1 大井 1200m 曇・良	5 ⑤ ノーザンバー (JRA) 牝 6 57 蛸名正 1.10.2 1人 1 ① ドリームバレンチノ (JRA) 牡 7 56 岩田康 1/2 2 4 ④ セイクリムズン (JRA) 牡 8 57 戸崎圭 2 6
	単勝④ 140円 枠連複(1-5) 320円 馬連複(1-5) 360円 枠連単(5-1) 510円 馬連単(5-1) 470円 3連複(1-4-5) 750円 3連単(5-1-4) 1,920円

●大井コースの実績がある馬に注目

JBCスプリントに向けての最重要トライアル。近年はすでに古馬GI/JpnIを勝っている馬が賞録を見せるケースが多くなっている。過去10年ではフジノウェーブやバンブーエール、スーニ、タイセイレジェンド、そして昨年のドリームバレンチノが該当。2着のコーリンベリも同等の馬であり、斤量58キロ(牝馬は56キロ)を背負い、結果を出している。一方で、地方馬の好走も目立つ。2012年はラブミーチャン(笠松)が優勝。10年は2着にヤサカファイン(大井)で、昨年はプラチナグロース(川崎)が好走した。アフター5スター賞など、このコースに実績がある馬に注目だ。

第14回 レディスプレリュード

JpnⅡ

10月5日(木)

大井 1800m

3歳以上牝馬

1着賞金 3100万円

フルゲート 16頭

16.9.19 大井 1800m 雨・重	8 ③ タマンプリネット (JRA) 牝 4 55 田邊裕 1.54.7 4人 5 ⑧ トーコーヴィーナス (兵庫) 牝 4 55 大山真 1 1/2 9 7 ⑪ ホワイトフーガ (JRA) 牝 4 57 蛸名正 同着 1
15.10.1 大井 1800m 雨・稍重	7 ⑫ サンピスタ (JRA) 牝 6 57 岩田康 1.50.2 2人 4 ④ トロワスマール (JRA) 牝 5 55 戸崎圭 2 3 10 ⑩ ホワイトフーガ (JRA) 牝 3 54 大野拓 1 4
14.10.2 大井 1800m 曇・良	6 ⑥ ワイルドフラッパー (JRA) 牝 5 56 蛸名正 1.51.5 1人 3 ③ サンピスタ (JRA) 牝 5 55 岩田康 1 3/4 2 4 ④ カチューシャ (JRA) 牝 5 55 三浦皇 フビ 4
	単勝⑥ 150円 枠連複(3-6) 140円 馬連複(3-6) 140円 枠連単(6-3) 180円 馬連単(6-3) 220円 3連複(3-4-6) 310円 3連単(6-3-4) 670円

●実力馬でもすんなりとは勝てない

中央との交流重賞になった2011年以降、1番人気馬は【3.1.1.1】という成績。最初の3年は平穩だったが、一昨年はアムールプリエが4着敗退。そして昨年はホワイトフーガが2着(同着)に敗れた。決して力負けではないが、波乱傾向が漂ってきた。実力馬であっても、余裕残しの仕上げですんなり勝てるようなレースではないと言えるだろう。基本的にはJRA勢の争いになっており、すべて勝っている。地方馬は前走名古屋の秋桜賞を勝っている馬が有力。11年は3着にエーシクールディ(笠松)が好走。そして昨年はトーコーヴィーナス(兵庫)が、9番人気で2着に入る激走を見た。

第30回 マイルチャンピオンシップ 南部杯

JpnⅠ

10月9日(祝・月)

盛岡 1600m

3歳以上

1着賞金 4500万円

フルゲート 16頭

16.10.10 盛岡 1600m 曇・稍重	7 ⑫ コパノリッキー (JRA) 牡 6 57 田邊裕 R1.33.5 1人 8 ⑬ ベストウォーリア (JRA) 牝 6 57 戸崎圭 1 3/4 2 10 ⑩ ホッコータルマエ (JRA) 牡 7 57 幸英明 3 4
15.10.12 盛岡 1600m 曇・稍重	7 ⑫ ベストウォーリア (JRA) 牡 5 57 福永祐 1.36.8 1人 1 ① タガトネル (JRA) セン 5 57 藤岡康 2 4 8 ⑧ ワンダーアキュート (JRA) 牡 9 57 和田竜 ハナ 2
14.10.13 盛岡 1600m 曇・良	6 ⑩ ベストウォーリア (JRA) 牝 4 57 戸崎圭 1.35.9 1人 5 ⑨ ポアソンプラック (JRA) 牡 5 57 太宰啓 4 2 3 ③ アドマイヤロイヤル (JRA) 牡 7 57 四位洋 1 4
	単勝⑦ 120円 枠連複(5-6) 310円 馬連複(9-10) 310円 馬連単(10-9) 400円 3連複(5-9-10) 590円 3連単(10-9-5) 1,320円

●盛岡や東京1600mでの経験が生きる

昨年はコパノリッキーが1分33秒5という驚異的なレコードで快勝。盛岡でのレコードは2014年のJBCクラシックに続くものとなった。南部杯を含む盛岡での実績、そして東京ダート1600m(主にフェブラリーステークス)での経験がかなり生きる一戦。ブルーコンコルドが3連覇を果たしたり、エスポワールシチーが年をまたいで3勝を挙げたりなど、同じ馬が何度も好走している。10年に勝ったオーロマイスターだけが異色で、普通は実力馬がキツチリと勝ち切る。2着にはダイシヨウジェットやタガトネル、ダノンカモンなど、1400mが得意な馬の好走が目立つ。

第20回 エーデルワイス賞

JpnⅢ

10月12日(木)

門別 1200m

2歳牝馬

1着賞金 2000万円

フルゲート 16頭

16.10.13 門別 1200m 晴・稍重	7 ⑭ リエノテソーロ (JRA) 牝 2 54 吉田準 1.12.8 1人 1 ① アップトゥユー (北海道) 牝 2 54 阿部龍 5 6 12 ⑫ ピンクダウウッド (北海道) 牝 2 54 吉原寛 アタマ 2
15.10.15 門別 1200m 晴・良	2 ③ タイニーダンサー (北海道) 牝 2 54 桑村真 1.41.1 2人 7 ⑦ モダンウーマン (北海道) 牝 2 54 阿部龍 2 3 4 ④ ディーズプラネット (JRA) 牝 2 54 横山典 2 6
14.10.16 門別 1200m 曇・稍重	6 ⑪ ヴィッシュハピネス (JRA) 牝 2 54 戸崎圭 1.12.9 1人 1 ① ジュエルクイーン (北海道) 牝 2 54 阪野学 3 8 12 ⑫ ネガティブ (北海道) 牝 2 54 阿部龍 アタマ 15
	単勝③ 300円 枠連複(2-7) 260円 馬連複(3-12) 670円 馬連単(3-12) 990円 3連複(3-4-12) 3,510円 3連単(3-12-4) 11,320円 単勝⑦ 240円 枠連複(1-6) 3,090円 馬連複(1-11) 3,080円 馬連単(11-1) 4,440円 3連複(1-11-12) 126,880円 3連単(11-1-12) 314,190円

●角川秀樹厩舎の猛攻が決まる

北海道の角川秀樹厩舎抜きには語れない一戦。毎年のように出走馬を送り出し、なおかつほとんどの年で好走馬を出している。過去10年、勝ち馬だけでも2008年アンペアなど4頭。2〜3着馬も含めるとかなりの数になる。しかも人気馬だけでなく、伏兵馬の激走も多いのが凄。よって、常に警戒しなければならない。中央馬はキャリアが浅いこともあり、狙い方は難しい。ただ、近年はリエノテソーロやヴィッシュハピネス、13年フクノドリームといった1番人気馬が勝利しており、とりあえずは前評判が高い馬に注目。普通は前走1着馬で、ダート勝ちの実績はほしいところだ。

第44回 北海道2歳優駿 JpnⅢ 10月31日(火) 門別1800m 2歳 1着賞金2000万円 フルゲート14頭	16.11.1 門別 1800m 曇・稍重	⑧ ⑬ エピカリス (JRA) 牡2 55 C.ルメール 1.54.6 1人気 ③ ③ ヒガシウィルウィン (北海道) 牡2 55 宮崎光 大差 4 ⑤ ⑧ スウィフトハート (北海道) 牡2 55 井上俊 1 1/2 5 単勝⑬100円 枠連複(3-8)300円 馬連複(3-13)440円 馬連単(13-3)510円 3連複(3-8-13)1,340円 3連単(13-3-8)2,410円	●人気は中央勢に集まるも混戦 昨年はエピカリスが1番人気に应运えて大差の勝利。2着馬はヒガシウィルウィン(北海道)で、結果的にはかなりレベルが高い年だった。ただ、こうしたケースは稀。エピカリスは明らかにモノが違う勝ち方をしていただけで、例年は混戦となる。地方はあってまもキャリアと馬場経験では地方馬に分があるため、中央馬としても容易ではない。にもかわらず、人気はどうしても中央勢に集まる。2013年優勝のハッピーズプリント(北海道)は1番人気だったが、それ以外の地方所属の好走馬は5番人気以下が多くなっている。そうした伏兵馬を見つけられるかが、カギと言えるだろう。
	15.11.5 門別 1800m 晴・稍重	⑦ ⑧ タイニーダンサー (北海道) 牝2 54 桑村真 1.55.7 5人気 ① ① スティールキング (北海道) 牡2 55 宮崎光 フビ 8 ③ ③ エネスク (JRA) 牡2 55 M.デムーロ 2 1 単勝⑧880円 枠連複(1-7)7,580円 馬連複(1-8)15,230円 馬連単(8-1)23,400円 3連複(1-8-9)9,410円 3連単(8-1-9)100,110円	
	14.11.6 門別 1800m 曇・稍重	③ ③ ディアドス (JRA) 牡2 55 三浦皇 1.54.9 3人気 ⑧ ① カラパナビーチ (JRA) 牡2 55 北村友 4 4 ⑫ ⑫ クラバズカー (北海道) 牡2 55 宮崎光 2 1/2 8 単勝③510円 枠連複(3-8)1,640円 馬連複(3-11)2,090円 馬連単(3-11)3,820円 3連複(3-11-12)26,130円 3連単(3-11-12)92,470円	
第17回 JBCクラシック JpnI 11月3日(祝・金) 大井2000m 3歳以上 1着賞金8000万円 フルゲート16頭	16.11.3 川崎 2100m 晴・重	⑥ ⑨ アウオーディー (JRA) 牡6 57 武 豊 2.15.3 2人気 ⑤ ⑧ ホッコータルマエ (JRA) 牡7 57 幸英明 3/4 3 ④ ④ サウンドトゥルー (JRA) 牡6 57 大野拓 1 5 単勝⑨240円 枠連複(5-6)190円 馬連複(8-9)700円 枠連単(6-5)400円 馬連単(9-8)1,150円 3連複(6-8-9)1,330円 3連単(9-8-6)4,230円	●多少の懸念材料は歓迎! 昨年は史上3頭目の3連覇を狙ったコパノリッキーだったが、5着に敗退。アウオーディーが怒涛の6連勝でGI/JpnI初制覇を飾った。こうした上がり馬が勝つケースは非常にめずらしく、基本的には過去の実績馬が強い。2001年の第1回からJRA勢が16連勝中でもある。ただし、1番人気馬の勝利はそれほど多くはない。近年で言えば、南部杯を休み明けで使い、状態を上げてくるケース。もしくは休み明けでもしっかりとここを目標に調整してくるケースなどがある。多少懸念材料があるぐらいの方が狙いやすく、オッズ的にも買いやすいと言えるかもしれない。
	15.11.3 大井 2000m 晴・不良	⑧ ⑬ コパノリッキー (JRA) 牡5 57 武 豊 2.04.4 3人気 ③ ⑤ サウンドトゥルー (JRA) 牡5 57 大野拓 2 1/2 4 ⑤ ⑩ ホッコータルマエ (JRA) 牡6 57 幸英明 1/2 1 単勝⑤620円 枠連複(3-8)2,850円 馬連複(5-15)2,630円 枠連単(8-3)5,780円 馬連単(15-5)5,140円 3連複(5-10-15)650円 3連単(15-5-10)8,860円	
	14.11.3 盛岡 2000m 曇・重	⑧ ⑬ コパノリッキー (JRA) 牡4 57 田邊裕 R2.00.8 3人気 ② ④ クリソライト (JRA) 牡4 57 C.ルメール 3 1 ② ④ ワンダーアキュート (JRA) 牡8 57 武 豊 1/2 2 単勝⑤480円 枠連複(3-8)680円 馬連複(6-15)760円 馬連単(15-6)1,920円 3連複(4-6-15)430円 3連単(15-6-4)3,950円	
第17回 JBCスプリント JpnI 11月3日(祝・金) 大井1200m 3歳以上 1着賞金6000万円 フルゲート16頭	16.11.3 川崎 1400m 晴・重	① ① ダノンレジェンド (JRA) 牡6 57 M.デムーロ 1.27.2 3人気 ② ② ベストウォリア (JRA) 牡6 57 戸崎圭 3 1 ⑧ ⑫ コーリンベリ (JRA) 牝5 55 松山弘 5 4 単勝①530円 枠連複(1-2)480円 馬連複(1-2)480円 枠連単(1-2)1,100円 馬連単(1-2)1,130円 3連複(1-2-12)1,050円 3連単(1-2-12)5,010円	●東京盃の着順はスライドしない 開催場によって距離が異なり、短距離戦における距離の延長・短縮は、中距離などに比べるとかなり大きな影響があるはず。今年は大井1200mなので、1200m以下が得意な馬にとってチャンスだ。同舞台の東京盃がかなり重要となり、当日の人気もその影響を受けるだろう。ただ、前哨戦の着順が、そのまま本番にスライドする可能性は極めて低いと考えるべきだ。実際、2015年はコーリンベリが、ダノンレジェンドを逆転で下して優勝した。枠順や展開次第で、着順は入れ返しもあるので注意したい。
	15.11.3 大井 1200m 晴・不良	① ② コーリンベリ (JRA) 牝4 55 松山弘 1.10.9 3人気 ③ ⑥ ダノンレジェンド (JRA) 牡5 57 M.デムーロ 3/4 1 ⑤ ⑩ ベストウォリア (JRA) 牡5 57 川田将 2 2 単勝②1,050円 枠連複(1-3)590円 馬連複(2-6)660円 枠連単(1-3)2,150円 馬連単(2-6)2,230円 3連複(2-6-10)560円 3連単(2-6-10)6,920円	
	14.11.3 盛岡 1200m 曇・重	⑥ ⑫ ドリームパレンチノ (JRA) 牡7 57 岩田康 1.09.0 2人気 ② ③ サトノタイガー (浦和) 牡6 57 吉原寛 フビ 6 ③ ⑥ タイセイレジェンド (JRA) 牡7 57 福永祐 1/2 5 単勝⑦270円 枠連複(2-6)7,570円 馬連複(3-12)7,190円 馬連単(12-3)10,850円 3連複(3-6-12)15,000円 3連単(12-3-6)103,000円	
第7回 JBCレディスクラシック JpnI 11月3日(祝・金) 大井1800m 3歳以上牝馬 1着賞金4100万円 フルゲート16頭	16.11.3 川崎 1600m 晴・重	② ② ホワイトフーガ (JRA) 牝4 55 蛸名正 1.41.3 1人気 ⑧ ⑬ レッツゴードンキ (JRA) 牝4 55 岩田康 1 1/2 4 ① ① トーセンセラヴィ (浦和) 牝5 55 森泰斗 4 6 単勝②220円 枠連複(2-8)1,180円 馬連複(2-14)1,100円 枠連単(2-8)2,210円 馬連単(2-14)2,280円 3連複(1-2-14)4,080円 3連単(2-14-1)17,100円	●大井では3歳馬の食い込みがカギ 今年のJBCは大井開催で、本競走は1800mで行われる。この条件では過去2回(2011年と15年)のデータがある。両年では1番人気馬が2着。それ以外の年でも1着が3着にはきており、連軸としての信頼は高い。牝馬限定のダートグレードでの実績はやはり重要となる。大井でポイントとなりそうなのは3歳馬取捨。15年はホワイトフーガが4番人気で古馬の実績どころを一蹴。11年はカフルデイズが6番人気で3着と、人気以上の走りを見せている。レディスプレリュードでの敗戦で人気を落としているタイプを警戒したい。穴は地方馬をマーク。森泰斗騎手が3着に2回入っている。
	15.11.3 大井 1800m 晴・不良	② ③ ホワイトフーガ (JRA) 牝3 53 大野拓 1.51.5 4人気 ③ ⑥ サンビスタ (JRA) 牝6 55 岩田康 5 1 ⑧ ⑩ トロワボヌール (JRA) 牝5 55 戸崎圭 2 1/2 3 単勝③930円 枠連複(2-3)530円 馬連複(3-6)570円 枠連単(2-3)2,110円 馬連単(3-6)2,000円 3連複(3-6-16)470円 3連単(3-6-16)6,040円	
	14.11.3 盛岡 1800m 曇・重	⑤ ⑩ サンビスタ (JRA) 牝5 55 岩田康 R1.49.3 2人気 ② ④ トロワボヌール (JRA) 牝4 55 田中勝 1 1/4 3 ② ④ ワイルドフラッパー (JRA) 牝5 55 蛸名正 1/2 1 単勝⑩490円 枠連複(3-5)1,480円 馬連複(6-10)1,840円 馬連単(10-6)3,500円 3連複(4-6-10)260円 3連単(10-6-4)5,760円	
第19回 兵庫ジュニアグランプリ JpnII 11月21日(火) 園田1400m 2歳 1着賞金2200万円 フルゲート12頭	16.11.23 園田 1400m 曇・良	③ ③ ローズジュレップ (北海道) 牡2 55 川原正 1.29.1 6人気 ⑦ ⑨ ハングリーベン (JRA) 牡2 55 北村宏 2 4 ⑧ ⑧ パリスコア (北海道) 牡2 55 服部茂 ハナ 7 単勝③3,840円 枠連複(3-7)8,040円 馬連複(3-9)6,360円 馬連単(3-9)13,700円 3連複(3-9-11)31,780円 3連単(3-9-11)306,650円	●何が来ても不思議はない 昨年は北海道から遠征のローズジュレップが6番人気で優勝。2014年も浦和のジャジャウマナラシが7番人気で制しており、地方馬が一発を決めている。臨戦過程からは狙いにくいタイプで、対処の方法は悩むことになる。中央勢でしっかりとした中央馬がいる場合はいいが、そうでないとい気に難しいレースになる。基本的には500万クラスを勝ってれば、ここでも通用する。ただし、11年はゴーイングパワーが、初ダートでいきなり優勝。13年2着のマキャヴィティもダリア賞勝ちの実績馬で格はあったが、ダートは初めてだった。何が来ても不思議はないと思ったほうがいい。
	15.11.25 園田 1400m 雨・稍重	④ ④ サウンドスカイ (JRA) 牡2 55 戸崎圭 1.28.6 1人気 ⑥ ⑦ コウエイテンマ (JRA) 牡2 55 和田竜 1 1/4 3 ① ① オデュッセウス (JRA) 牡2 55 岩田康 5 2 単勝④210円 枠連複(4-6)620円 馬連複(4-7)580円 馬連単(4-7)870円 3連複(1-4-7)390円 3連単(4-7-1)1,970円	
	14.11.26 園田 1400m 雨・重	① ① ジャジャウマナラシ (浦和) 牡2 55 田中学 1.26.4 7人気 ⑦ ⑦ オヤコダカ (北海道) 牡2 55 川原正 2 1/2 6 ③ ③ トーセンラーク (JRA) 牝2 54 横山典 アタマ 3 単勝①16,970円 枠連複(1-7)28,820円 馬連複(1-9)32,290円 馬連単(1-9)106,880円 3連複(1-3-9)47,650円 3連単(1-9-3)603,300円	
第38回 浦和記念 JpnII 11月23日(祝・木) 浦和2000m 3歳以上 1着賞金3500万円 フルゲート11頭	16.11.22 浦和 2000m 晴・重	⑥ ⑥ ケイティブレブ (JRA) 牡3 56 武 豊 2.07.0 1人気 ⑦ ⑦ クリソライト (JRA) 牡6 58 藤井勘 4 3 ④ ④ ハッピーズプリント (大井) 牡5 57 吉原寛 4 5 単勝⑥130円 枠連複(6-7)320円 馬連複(6-9)330円 枠連単(6-7)410円 馬連単(6-9)490円 3連複(4-6-9)1,220円 3連単(6-9-4)2,930円	●1番人気を着外に沈むケースも 過去10年の1番人気の成績は【4.2.1.3】。普通は悪くない成績だが、地方のダートグレードとしてはやや不振。2009年にはスマートファルコンが7着に沈むなど、着外に落ちるケースが案外ある。GI(JpnI)シリーズの狭間にあるレースなので、地方勢が付け入る隙が大きいことが特徴。14年は上位を独占。15年はワン・ツー決着を果たしている。JBCクラシックなどで掲示板に入る力があるならばチャンスはある。中央勢は白山大賞典や日本テレビ盃が好ステップ。こちらも掲示板に入るくらいで構わない。順調に使われていて、なおかつ左回りの重賞で好走実績があると心強い。
	15.12.2 浦和 2000m 曇・良	⑤ ⑤ ハッピーズプリント (大井) 牡4 56 宮崎光 2.05.9 2人気 ⑥ ⑦ サミットストーン (船橋) 牡7 57 石崎駿 2 6 ⑧ ⑧ ソリタリーキング (JRA) 牡8 57 戸崎圭 2 4 単勝⑤280円 枠連複(5-6)2,170円 馬連複(5-7)2,070円 枠連単(5-6)3,030円 馬連単(5-7)2,970円 3連複(5-7-11)3,050円 3連単(5-7-11)15,240円	
	14.11.19 浦和 2000m 晴・良	③ ③ サミットストーン (船橋) 牡6 56 石崎駿 2.07.8 3人気 ⑤ ⑤ グランディオーソ (大井) 牡5 56 御神訓 アタマ 5 ④ ④ トーセンアレス (浦和) 牡7 56 張田京 フビ 7 単勝③470円 枠連複(3-5)1,370円 馬連複(3-5)1,480円 枠連単(3-5)3,140円 馬連単(3-5)2,550円 3連複(3-4-5)6,000円 3連単(3-5-4)25,610円	

第63回 クイーン賞 JpnⅢ 12月6日(水) 船橋1800m 3歳以上牝馬 1着賞金2100万円 フルゲート14頭	16.12.7 船橋 1800m 曇・稍重	7 ⑫ トロワポヌール(JRA) 牝6 56 C.ルメール 1,53.8 1人気 4 ⑤ タイニーダンサー(JRA) 牝3 54 田邊裕 3 5 8 ⑬ タイムビヨンド(北海道) 牝4 52 五十冬 1/2 8 単勝⑫300円 枠連複(4-7)1,300円 馬連複(5-12)1,480円 枠連単(7-4)1,740円 馬連単(12-5)2,300円 3連複(5-12-13)7,710円 3連単(12-5-13)24,520円	●3歳馬と地方馬の取捨がカギ 過去10年で3歳馬が5勝をマーク。古馬とは五分五分だが、3歳馬の取捨の方がやや難しい。2015年のディアマイダーリンは初ダートで優勝。12年レッドクラウドディアや07年ホワイトメロディーは前走ダートで4着以下に敗れていた。柔軟に考えて、拾っていく必要があるだろう。古馬に関しては前走JBCレディスクラシックで好走していた馬が中心で、かなり有力となる。地方馬にもチャンスは十分。昨年はタイムビヨンド(北海道)が3着と好走。13年はサクラサクラサクラ(大井)、12年はアドマイヤインディ(高知)など、ほぼ毎年のように伏兵の地方馬が激走している。
	15.12.9 船橋 1800m 晴・良	6 ⑨ ディアマイダーリン(JRA) 牝3 53 横山典 1,53.6 4人気 1 ① トロワポヌール(JRA) 牝5 56.5 C.ルメール フビ 1 3 ③ ノットオーソリティ(船橋) 牝4 52 赤岡修 3/4 5 単勝⑨810円 枠連複(1-6)790円 馬連複(1-9)770円 枠連単(6-1)1,790円 馬連単(9-1)2,030円 3連複(1-3-9)2,250円 3連単(9-1-3)13,770円	
	14.12.3 船橋 1800m 晴・重	5 ⑦ トロワポヌール(JRA) 牝4 55 戸崎圭 1,53.0 1人気 8 ⑬ アクティビューティ(JRA) 牝7 56 内田博 1 1/2 4 4 ⑤ ブルーチップパー(JRA) 牝4 54 幸英明 3 3 単勝⑦170円 枠連複(5-8)620円 馬連複(7-13)650円 枠連単(5-8)850円 馬連単(7-13)790円 3連複(5-7-13)700円 3連単(7-13-5)2,140円	
第68回 全日本2歳優駿 JpnⅠ 12月13日(水) 川崎1600m 2歳 1着賞金3500万円 フルゲート14頭	16.12.14 川崎 1600m 曇・不良	1 ① リエノテソーロ(JRA) 牝2 54 吉田準 1,42.8 1人気 8 ⑬ シゲルコング(JRA) 牝2 55 内田博 3 2 3 ④ ローゼジュレップ(北海道) 牝2 55 川原正 1 1/2 3 単勝①200円 枠連複(1-8)390円 馬連複(1-14)870円 枠連単(1-8)580円 馬連単(1-14)1,180円 3連複(1-4-14)1,960円 3連単(1-14-4)5,960円	●勝ってきたレースのレベルを判定 昨年は紅一点のリエノテソーロが1番人気に依りて優勝。前走エーデルワイス賞からの連勝を飾ったわけだが、これはめずらしいケース。普通は北海道2歳優駿が兵庫ジュニアグランプリの好走馬が強く、ここでは有力となる。少差ならば掲示板クラスの馬でも巻き返してくると考えたほうがいい。前走中央の500万組も好走馬は多い。特別戦だけでなく、平場戦の勝ち上がりでも構わない。距離経験も1400mまであれば、対応できる可能性が高く、左回りの実績もあり気にする必要はない。着差よりも走破タイムや内容を重視して、勝ってきたレースのレベルを判定したい。
	15.12.16 川崎 1600m 晴・稍重	5 ⑥ サウンドスライ(JRA) 牝2 55 戸崎圭 1,43.1 1人気 7 ⑩ レガーロ(JRA) 牝2 55 M.デムーロ 1 1/2 2 5 ⑤ アンサンブルライフ(浦和) 牝2 55 左海誠 フビ 5 単勝⑤310円 枠連複(5-7)250円 馬連複(6-10)480円 枠連単(5-7)460円 馬連単(6-10)990円 3連複(5-6-10)1,810円 3連単(6-10-5)6,180円	
	14.12.17 川崎 1600m 晴・稍重	5 ⑦ ディアドムス(JRA) 牝2 55 三浦皇 1,45.3 3人気 9 ⑥ タップザット(JRA) 牝2 55 福永祐 1/2 1 4 ⑥ タイセイバビッシュ(JRA) 牝2 55 岩田康 3 4 単勝⑦420円 枠連複(5-6)510円 馬連複(7-9)570円 枠連単(5-6)1,150円 馬連単(7-9)1,210円 3連複(6-7-9)720円 3連単(7-9-6)3,830円	
第17回 名古屋グランプリ JpnⅡ 12月14日(木) 名古屋2500m 3歳以上 1着賞金3100万円 フルゲート12頭	16.12.15 名古屋 2500m 晴・重	5 ⑥ アムールブリエ(JRA) 牝5 55 C.ルメール 2,41.7 2人気 8 ③ ケイティブレイブ(JRA) 牝3 55 武豊 3 1 8 ⑫ カツゲキキキキ(名古屋) 牝3 54 大畑雅 1,53.0 7 単勝⑥280円 枠連複(3-5)170円 馬連複(3-6)180円 馬連単(6-3)440円 3連複(3-6-12)2,720円 3連単(6-3-12)10,070円	●中央馬が中心も1番人気は5連敗中 第1回にミツアキサイレンス(笠松)が勝って以降、地方馬の勝利はない。3着以内の入線も困難で、昨年久々にカツゲキキキキ(名古屋)が3着と好走を果たした。東京大賞典を控えるため、出走時点で超一流の実績を持つ馬の出走はほとんどない。それでも中央勢の層が厚く、上位独占が多くなっている。ただし、近年は1番人気馬が5連敗中。昨年もアムールブリエがケイティブレイブを退けて、連覇を果たした。この点は要注意だ。エーシンモアバーなども2回優勝しており、コース実績がある場合は強み。過去に一度好走したことがある馬が、再び走るレースでもある。
	15.12.23 名古屋 2500m 雨・稍重	8 ⑪ アムールブリエ(JRA) 牝4 55 濱中俊 2,45.7 2人気 7 ⑩ ニホンピロアワーズ(JRA) 牝4 58 酒井学 1 5 5 ⑤ カゼノ(JRA) 牝4 58 秋山真 1 1/2 1 単勝⑧320円 枠連複(7-8)1,580円 馬連複(10-11)1,280円 馬連単(11-10)2,270円 3連複(5-10-11)890円 3連単(11-10-5)5,700円	
	14.12.23 名古屋 2500m 晴・稍重	7 ⑧ エーシンモアバー(JRA) 牝8 57 岡部誠 2,43.5 6人気 6 ⑥ ニホンピロアワーズ(JRA) 牝7 58 酒井学 フビ 1 8 ⑩ シビルウォー(JRA) 牝9 57 岩田康 1/2 2 単勝⑦1,330円 枠連複(6-7)1,930円 馬連複(6-8)1,800円 馬連単(8-6)4,950円 3連複(6-8-10)1,840円 3連単(8-6-10)16,670円	
第17回 兵庫ゴールドトロフィー JpnⅢ 12月27日(水) 園田1400m 3歳以上 1着賞金2100万円 フルゲート12頭	16.12.28 園田 1400m 晴・不良	8 ⑪ ニシケンモノノフ(JRA) 牝5 57 横山典 1,25.8 2人気 7 ⑨ ドリームパレンチノ(JRA) 牝9 59.5 岩田康 フビ 3 8 ⑫ ノボハカル(JRA) 牝4 58 内田博 3 1 単勝⑧240円 枠連複(7-8)430円 馬連複(9-11)940円 馬連単(11-9)1,370円 3連複(9-11-12)380円 3連単(11-9-12)3,220円	●ハンデは重くても実績馬が強い 年内最後の短距離ダートグレード。JBCスプリントを経て、出走する馬が多い一戦。年にもよるが、ハンデ戦(2007年から)ながら実績馬の出走もある。近年ではスーニヤドリームパレンチノが勝利している。ハンデ57.5キロ以上の重い斤量の馬もかなり走っており、この点は全く気にする必要はない。第1回が行われた01年から、勝ち馬はすべて中央馬。人気も大半が3番人気以内だ。カペラステークスからの巻き返しもあるし、上位勢の入れ替わりは十分考えられる。地方馬の食い込みもあるが、高配当ははやや望み薄。中位人気馬の好走が多く、前評判に近い走りを想定したい。
	15.12.24 園田 1400m 晴・不良	3 ⑨ レーザーバレット(JRA) 牝7 57 戸崎圭 1,26.0 1人気 8 ⑫ ドリームパレンチノ(JRA) 牝8 59.5 岩田康 3/4 3 7 ⑨ ボアソンプラック(北海道) 牝6 56 松浦政 1 1/2 4 単勝③180円 枠連複(3-8)400円 馬連複(3-12)430円 馬連単(3-12)590円 3連複(3-9-12)660円 3連単(3-12-9)2,080円	
	14.12.24 園田 1400m 晴・稍重	6 ⑧ メイショウコロポ(JRA) 牝5 56 武幸四 1,25.7 1人気 1 ① ジョーメテオ(浦和) 牝8 53 田中学 1 1/2 4 3 ③ サクラシャイニー(高知) 牝8 53 赤岡修 5 7 単勝⑥280円 枠連複(1-6)1,020円 馬連複(1-8)1,150円 馬連単(8-1)1,840円 3連複(1-3-8)5,030円 3連単(8-1-3)19,000円	
第63回 東京大賞典 GI 12月29日(金) 大井2000m 3歳以上 1着賞金8000万円 フルゲート16頭	16.12.29 大井 2000m 晴・重	7 ⑪ アポロケンタッキー(JRA) 牝4 57 内田博 2,05.8 5人気 5 ⑧ アウオーディー(JRA) 牝6 57 武豊 1 1/2 1 8 ⑬ サウンドトゥルー(JRA) セン6 57 大野拓 フビ 2 単勝⑦1,630円 枠連複(5-7)1,140円 馬連複(8-11)1,050円 枠連単(7-5)4,490円 馬連単(11-8)4,110円 3連複(8-11-14)590円 3連単(11-8-14)10,780円	●実力は接近で、状態や展開もカギ JBCクラシックやチャンピオンズカップを戦ってきた面々による年内最後の大一番。力関係はほぼ判明しているはずだが、意外と前評判通りには決まらない。昨年は5番人気のアポロケンタッキーが優勝。1番人気のアウオーディーが2着に敗れた。連戦・激戦の疲労による影響もあったはずだ。お互いの実力はかなり接近しているため、馬の状態、ペースや枠順、展開により勝敗は決する。年齢的には若い4・5歳馬が有利な印象。ただし、3歳馬は2004年アジュディミッツオー以降、勝ちがない。過去10年、6歳以上で勝利したのは08年のカネヒキリと11年のスマートファルコン。
	15.12.29 大井 2000m 晴・良	4 ⑤ サウンドトゥルー(JRA) セン5 57 大野拓 2,03.0 3人気 8 ⑬ ホッコータルマエ(JRA) 牝6 57 幸英明 1 3/4 1 3 ④ ワンダーアキュート(JRA) 牝9 57 和田竜 6 6 単勝④390円 枠連複(4-8)340円 馬連複(5-13)430円 枠連単(4-8)740円 馬連単(5-13)900円 3連複(4-5-13)2,920円 3連単(5-13-4)8,650円	
	14.12.29 大井 2000m 曇・重	6 ⑥ ホッコータルマエ(JRA) 牝5 57 幸英明 2,03.0 1人気 4 ⑦ コパソリック(JRA) 牝4 57 田邊裕 4 2 7 ⑬ サミットストーン(船橋) 牝6 57 石崎駿 1 1/2 8 単勝⑥170円 枠連複(3-4)290円 馬連複(6-7)300円 枠連単(3-4)480円 馬連単(6-7)520円 3連複(6-7-13)4,310円 3連単(6-7-13)10,170円	

LOTO 高額配当ランキング Odds Park 2017年6月1日～2017年8月31日

【五重勝単勝式】

第1位	5,830,650円(1口)	7/7 園田
第2位	1,808,270円(2口)	8/10 園田
第3位	1,508,710円(1口)	7/21 園田

【七重勝単勝式】

第1位	7,052,990円(1口)	8/5 帯広
-----	----------------	--------

読者プレゼント

- 吉井友彦騎手直筆サイン色紙…3名様 提供：吉井友彦騎手
- オッズパーク特製お守り・ボールペン…セットで10名様



提供：オッズ・パーク株式会社

ご希望の方は官製はがきに、①ご希望のプレゼント名、②住所・氏名、③年齢、④新連載(「歴史のひとコマ」)についてのご意見・感想、⑤Odds Parkを利用してお楽しみ、⑥Odds Parkへのご意見・要望を明記の上、下記まで。締切は1月22日(月)の消印有効。当選者の発表は景品の発送をもって代えさせていただきます。なお、個人情報については景品の発送以外の目的では使用いたしません。
〒171-0022 東京都豊島区南池袋2-47-4-503 有限会社サイト OPC編集部 プレゼント係

開催日程

☆☆ ナイター開催時の投票開始時間 ☆☆☆
 兵庫(園田)、高知 …………… ナイター開催当日 10:00 ~
 ばんえい帯広、ホッカイドウ、南関東 … ナイター開催当日 12:00 ~

DG ダートグレード開催日 (重賞) 重賞開催日
 ☆: 薄暮取扱 ☆: ナイター取扱

10月	1日	2月	3火	4水	5木	6金	7土	8日	9月	10火	11水	12木	13金	14土	15日	16月	17火	18水	19木	20金	21土	22日	23月	24火	25水	26木	27金	28土	29日	30月	31火	
ばんえい帯広	★	★					★	★	★					★	★ 重賞	★					★	★	★					★	★ 重賞	★		ばんえい
ホッカイドウ門別			★	★	★ 重賞					★	★ 重賞	DG					★	★	★					★	★ 重賞	★					★	ホッカイドウ
岩手盛岡/水沢	盛岡	盛岡					盛岡	盛岡	盛岡					盛岡	盛岡	盛岡					盛岡	盛岡	盛岡					盛岡	盛岡	盛岡		岩手
金沢	重賞		DG														重賞															金沢
笠松												重賞																				笠松
名古屋																							重賞			重賞						名古屋
兵庫園田/姫路				園田	園田	園田					園田	園田	園田					園田	園田	園田				園田	園田	園田						兵庫
高知	★							★	★					★	★ 重賞						★	★						★	★			高知
佐賀							重賞	重賞						重賞	重賞							重賞					重賞					佐賀
南関東DG				大井★ DG	大井★ DG																											南関東

11月	1水	2木	3金	4土	5日	6月	7火	8水	9木	10金	11土	12日	13月	14火	15水	16木	17金	18土	19日	20月	21火	22水	23木	24金	25土	26日	27月	28火	29水	30木		
ばんえい帯広				★	★重賞	★					★	★重賞	★					★	★	★						★	★重賞	★				ばんえい
ホッカイドウ門別	★	★					★	★	★重賞																							ホッカイドウ
岩手盛岡／水沢				盛岡	盛岡	盛岡					水沢	水沢	水沢					水沢	水沢	水沢						水沢	水沢	水沢				岩手
金沢												重賞		重賞													重賞					金沢
笠松									重賞													重賞										笠松
名古屋																重賞																名古屋
兵庫園田／姫路	園田	園田					園田	園田	園田	園田					園田	園田	園田					園田	園田	園田					園田	園田	園田	兵庫
高知				★	★重賞						★	★						★重賞	★							★	★重賞					高知
佐賀				重賞							重賞							重賞								重賞						佐賀
南関DG			大井 DG																				浦和 DG									南関東

12月	1金	2土	3日	4月	5火	6水	7木	8金	9土	10日	11月	12火	13水	14木	15金	16土	17日	18月	19火	20水	21木	22金	23土	24日	25月	26火	27水	28木	29金	30土	31日		
ばんえい 帯 広		★	★ 重賞	★					★	★	★					★	★	★					★	★ 重賞	★				★	★ 重賞			ばんえい
ホッカイドウ 門 別																																ホッカ イドウ	
岩 手 盛岡／水沢		水沢	水沢	水沢					水沢	水沢	水沢					水沢	水沢	水沢					水沢	水沢	水沢					水沢	水沢	岩手	
金 沢										重賞																						金沢	
笠 松																													重賞	重賞		笠松	
名 古 屋														DG																		名古屋	
兵 庫 園田／姫路					園田	園田	園田					園田	園田	園田	園田				園田	園田	園田					園田	園田		園田	園田	園田	兵庫	
高 知		★	★							★		★	★				★		★	★								★ 重賞		★	★ 重賞	高知	
佐 賀		重賞							重賞								重賞						重賞	重賞								佐賀	
南関DG						船橋★ DG							川崎★ DG																大井 DG			南関東	

※日程は変更となる場合がございますのでご注意ください。
 ※南関東地区で行われるダートグレード競走については、市中銀行会員のみの投票できます。
 ※ホッカイドウ競馬については、楽天銀行会員・住信SBIネット銀行会員・すぐかえーる会員は投票できません。

重賞&ダートグレード日程(2017年10月~12月)

10月	競馬場	実施日	競走名	重賞	競走条件	距離	備考
	金沢	1(日)	第12回 金沢プリンセスカップ	重賞	2歳牝馬	1,400	
	金沢	3(火)	第37回 白山大賞典JpnⅢ	DG	3歳以上	2,100	中央・地方全国交流
	大井	4(水)	第51回 東京盃JpnⅡ	DG	3歳以上	1,200	中央・地方全国交流
	門別	5(木)	第17回 サンライズカップ	重賞	2歳	1,700	地方全国交流
	大井	5(木)	第14回 レディスプレリュードJpnⅡ	DG	3歳以上牝馬	1,800	中央・地方全国交流
	佐賀	7(土)	第5回 耶馬溪賞	重賞	3歳以上	1,400	
	盛岡	8(日)	第17回 ハーベストカップ	重賞	3歳以上	芝1,000	
	佐賀	8(日)	第28回 九州ジュニアチャンピオン	重賞	2歳	1,750	
	盛岡	9(祝・月)	第30回 マイルチャンピオンシップ南部杯JpnI	DG	3歳以上	1,600	中央・地方全国交流
	門別	11(水)	第50回 瑞穂賞	重賞	3歳以上	1,800	地方全国交流
	門別	12(木)	第20回 エーデルワイス賞JpnⅢ	DG	2歳牝馬	1,200	中央・地方全国交流
	笠松	13(金)	第41回 岐阜金賞	重賞	3歳	1,900	北陸・東海・近畿地区交流
	園田	13(金)	第57回 姫山菊花賞	重賞	3歳以上	1,700	地方全国交流
	佐賀	14(土)	第5回 五ヶ瀬川賞	重賞	3歳以上	1,800	
	帯広	15(日)	第40回 ナナカマド賞	重賞	2歳	200	
	盛岡	15(日)	第37回 若駒賞	重賞	2歳	1,600	
	高知	15(日)	第21回 黒潮菊花賞	重賞	3歳	1,900	
	佐賀	15(日)	第19回 九州大賞典	重賞	3歳以上	2,500	
	金沢	17(火)	第2回 金沢シンデレラカップ	重賞	2歳牝馬	1,500	地方全国交流
	盛岡	21(土)	第7回 OROターフスプリント	重賞	3歳以上	芝1,000	地方全国交流
	盛岡	22(日)	第49回 不來方賞	重賞	3歳	2,000	
	佐賀	22(日)	第2回 西日本ダービー	重賞	3歳	2,000	北陸・東海・近畿・四国・九州地区交流
	名古屋	24(火)	第56回 ゴールドウィング賞	重賞	2歳	1,600	
	門別	25(水)	第4回 サッポロクラシックカップ	重賞	2歳	1,200	地方全国交流
	園田	26(木)	第10回 兵庫若駒賞	重賞	2歳	1,400	
	名古屋	27(金)	第35回 ゴールド争覇	重賞	3歳以上	1,400	地方全国交流
	佐賀	28(土)	第5回 韓国岳賞	重賞	3歳以上	1,800	
	帯広	29(日)	第38回 北見記念	重賞	3歳以上	200	
	盛岡	29(日)	第8回 知床賞	重賞	2歳	1,400	北海道・東北地区交流
	門別	31(火)	第44回 北海道2歳優駿JpnⅢ	DG	2歳	1,800	中央・地方全国交流
11月	園田	1(水)	第1回 兵庫ゴールドカップ	重賞	3歳以上	1,230	
	大井	3(祝・金)	第17回 JBCクラシックJpnI	DG	3歳以上	2,000	中央・地方全国交流
	大井	3(祝・金)	第17回 JBCスプリントJpnI	DG	3歳以上	1,200	中央・地方全国交流
	大井	3(祝・金)	第7回 JBCレディスクラシックJpnI	DG	3歳以上牝馬	1,800	中央・地方全国交流
	佐賀	4(土)	第5回 カペラ賞	重賞	2歳	1,750	
	帯広	5(日)	第42回 ばんえい菊花賞	重賞	3歳	200	
	盛岡	5(日)	第7回 絆カップ	重賞	3歳以上	1,600	地方全国交流
	高知	5(日)	第13回 黒潮マイルチャンピオンシップ	重賞	3歳以上	1,600	
	門別	9(木)	第60回 道営記念	重賞	3歳以上	2,000	ファン投票
	門別	9(木)	第5回 フロッサムカップ	重賞	2歳牝馬	1,600	地方全国交流
	笠松	9(木)	第4回 ラブミーチャン記念	重賞	2歳牝馬	1,600	地方全国交流
	園田	9(木)	第14回 兵庫クイーンカップ	重賞	3歳以上牝馬	1,700	北陸・東海・近畿地区交流
	佐賀	11(土)	第5回 周防灘賞	重賞	3歳以上	1,400	
	帯広	12(日)	第42回 クイーンカップ	重賞	4歳牝馬	200	
	水沢	12(日)	第45回 南部駒賞	重賞	2歳	1,600	地方全国交流
	金沢	12(日)	第65回 北國王冠	重賞	3歳以上	2,600	地方全国交流
	金沢	14(火)	第19回 兼六園ジュニアカップ	重賞	2歳	1,500	
	名古屋	16(木)	第58回 東海菊花賞	重賞	3歳以上	1,900	地方全国交流
	高知	18(土)	第2回 黒潮ジュニアチャンピオンシップ	重賞	2歳	1,400	
	佐賀	18(土)	第5回 天山賞	重賞	2歳	1,400	
	水沢	19(日)	第30回 ダービーグランプリ	重賞	3歳	2,000	地方全国交流
	園田	21(火)	第19回 兵庫ジュニアグランプリJpnⅡ	DG	2歳	1,400	中央・地方全国交流
	笠松	22(水)	第13回 笠松グランプリ	重賞	3歳以上	1,400	地方全国交流
	浦和	23(祝・木)	第38回 浦和記念JpnⅡ	DG	3歳以上	2,000	中央・地方全国交流
	佐賀	25(土)	第5回 雲仙岳賞	重賞	3歳以上	1,800	
	帯広	26(日)	第8回 ドリームエイジカップ	重賞	4歳以上馬齢選抜	200	
	水沢	26(日)	第34回 プリンセスカップ	重賞	2歳牝馬	1,400	地方全国交流
	金沢	26(日)	第20回 金沢ヤングチャンピオン	重賞	2歳	1,700	
	高知	26(日)	第6回 土佐秋月賞	重賞	3歳	1,600	
12月	佐賀	2(土)	第5回 師走賞	重賞	3歳以上	1,800	
	帯広	3(日)	第42回 ばんえいオークス	重賞	3歳牝馬	200	
	水沢	3(日)	第40回 北上川大賞典	重賞	3歳以上	2,500	
	船橋	6(水)	第63回 クイーン賞JpnⅢ	DG	3歳以上牝馬	1,800	中央・地方全国交流
	園田	7(木)	第60回 園田金盃	重賞	3歳以上	1,870	
	佐賀	9(土)	第4回 大淀川賞	重賞	3歳以上	1,400	
	水沢	10(日)	第16回 寒菊賞	重賞	2歳	1,600	
	金沢	10(日)	第53回 中日杯	重賞	3歳以上	2,000	
	川崎	13(水)	第68回 全日本2歳優駿JpnI	DG	2歳	1,600	中央・地方全国交流
	名古屋	14(木)	第17回 名古屋グランプリJpnⅡ	DG	3歳以上	2,500	中央・地方全国交流
	水沢	16(土)	第26回 白嶺賞	重賞	3歳以上	1,600	
	佐賀	17(日)	第5回 仙酔峡賞	重賞	3歳以上	1,750	
	佐賀	23(祝・土)	第4回 宝満山賞	重賞	3歳以上	2,000	
	帯広	24(日)	第46回 ばんえいダービー	重賞	3歳	200	
	佐賀	24(日)	第33回 中島記念	重賞	3歳以上	1,800	ファン投票
	園田	27(水)	第17回 兵庫ゴールドトロフィー JpnⅢ	DG	3歳以上	1,400	中央・地方全国交流
	高知	28(木)	第39回 金の鞍賞	重賞	2歳	1,400	
	帯広	29(金)	第19回 ヤングチャンピオンシップ	重賞	2歳産駒特別選抜	200	
	大井	29(金)	第63回 東京大賞典GI	DG	3歳以上	2,000	中央・地方全国・国際交流
	笠松	30(土)	第21回 ライデンリーダー記念	重賞	2歳牝馬	1,600	
	水沢	31(日)	第43回 桐花賞	重賞	3歳以上	2,000	ファン投票
	笠松	31(日)	第46回 東海ゴールドカップ	重賞	3歳以上	1,900	
	園田	31(日)	第46回 園田ジュニアカップ	重賞	2歳	1,700	
	高知	31(日)	第48回 高知県知事賞	重賞	3歳以上	2,400	

※開催内容が変更となる場合がございますのでご注意ください。

キャンペーン開催決定!

詳細はオッズパークサイトで
11月中旬に発表します。

最強馬たちの

昨年度優勝馬:ラブバレット
騎手:山本 聡哉

11月22日 水

笠松競馬場

1,400m 3歳以上

地方全国交流 第13回

笠松グランプリ

●オッズパークで投票できる勝馬投票券

すべてのレースに投票できます (ホッカイドウ競馬については、楽天銀行会員・住信SBIネット銀行会員・すぐかえーる会員は投票できません)

競馬場	場番号	最大出走頭数	単勝(単)	複勝(複)	連勝複式		連勝単式		三連勝		重勝式		投票方式				レース実況
					枠番 複勝	馬番 複勝	枠番 単勝	馬番 単勝	三連複	三連単	セレクト5	セレクト7	ランダム7	電話投票ARS	インターネット投票	携帯スマートフォン投票	
	普通(馬)	拡大(ワ)															
	賭式番号	1	2	3	4	7	5	6	8	9				オッズパーク投票	クラシック投票	携帯スマートフォン投票	
ばんえい帯広	03	10	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	0180-991-073(帯広市)
ホッカイドウ門別	06	16	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	0180-991-234(札幌市)
盛岡	11	15	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	0180-991-335(盛岡開催)(盛岡市)
水沢	12	12	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	0180-991-336(水沢開催)(奥州市)
金沢	41	12	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	0180-997-553(金沢市) 076-257-7711
笠松	42	10	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	0180-995-001(笠松町)
名古屋	43	12	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	0180-995-711(名古屋市)
園田	51	12	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	0180-996-200(園田開催)(尼崎市)
姫路	52	12	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	0180-997-200(姫路開催)(姫路市)
高知	55	12	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	0180-998-991(高知市)
佐賀	61	12	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	0180-999-211(鳥栖市)

※販売賭式は変更になる場合がございます。 ※重勝式は、インターネット投票(クラシック投票は除く)のみ投票できます。

ダートグレード競走のみ投票することができます (市中銀行会員のみ投票できます)

浦和	31	12	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	0180-993-400 (東京03エリア)
船橋	32	14	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
大井	33	16	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
川崎	34	14	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	

オッズパーク
サポートセンター

電話 0570-006889 (ナビダイヤル) / 03-6274-1698 FAX 098-851-0988
受付時間 10:00~21:00(ナイター非開催日は17:30まで) ※施設点検日およびメンテナンス日は休業

インターネット投票

パソコン
<http://www.oddspark.com/>
携帯
<http://m.oddspark.com/>
スマートフォン
<https://sp.oddspark.com/>

電話投票

0570-011100 (ナビダイヤル)
03-6833-0111

※投票はどちらの投票用電話番号でもご利用になれます。

レース結果案内(全主催者共通)

0570-011555 (ナビダイヤル)
03-6748-0100
03-6748-0101

※番号をよくご確認ください。お間違えのないようお願いいたします。

※「0180」「0570」で始まる電話番号は、一部の携帯電話・PHSからはご利用になれません。また、NTT以外の電話会社と契約されている場合はご利用いただけない場合がございます。

※「0180」で始まる電話番号は
(固定電話) 音源所在地までの一般ダイヤル通話料
(携帯電話) 全国一律14秒10円(3分130円)
がかかりますのでご注意ください。

※ナビダイヤル(「0570」で始まる電話番号)の通常電話からの通話料金は、全国一律で一般電話からは1分10円、携帯電話からは20秒10円です。